

資料一 2 収集文献資料一覧

平成 19 年度文献調査により、諏訪湖周辺から上伊那・下伊那地域に残る災害の記録・土地の成り立ちが残る地名・現在まで伝わっている紙芝居や民話等を調査した。調査した文献は、主に市町村誌や民族・歴史に関する文献、また国土交通省天竜川上流河川事務所に保管されていた管内における既往災害の記録写真等であり、254 点に及んだ。以下に収集した文献を示す。

表 2-1 収集文献リスト(1/8)

No.	分類	タイトル
1	写真帳	30 年史
2	写真帳	昭和初期の伊那管内写真
3	写真帳	昭和 58 年 10 号台風による災害写真 No.1
4	写真帳	昭和 57 年 出水写真 No.2
5	写真帳	昭和 57 年 出水写真 No.3
6	写真帳	災害状況写真
7	写真帳	災害状況写真
8	写真帳	いい写真ファイル(ネガフィルム)2 36 災関係
9	写真帳	大鹿村 36 年梅雨前線豪雨災害写真 調査課
10	写真帳	伊那谷の大水害記録写真帖 昭和 36 年 6 月出水 天上調査課
11	写真帳	天竜川災害写真
12	写真帳	昭和三六年六月災害写真
13	写真帳	昭和三六年六月災害写真 大鹿村
14	写真帳	昭和三六年六月災害写真 中川村
15	写真帳	写真
16	写真帳	昭和 36 年 6 月 災害写真集 特に小渋川流域に於ける
17	写真帳	昭和 36 年 6 月 梅雨前線豪雨 災害写真集 7 月撮影
18	写真帳	平成 11 年 6 月 30 日出水 巡視調書 No.1
19	写真帳	平成 11 年 6 月 30 日出水 巡視調書 No.2
20	写真帳	河岸洗掘状況写真 箕輪町 長岡地先
21	写真帳	H11.6.30 出水状況写真 伊那管内
22	写真帳	H11.6.30 出水状況写真 駒ヶ根管内
23	写真帳	H11.6.30 出水状況写真
24	写真帳	H11.6.30 出水状況写真
25	写真帳	H11.6.30 出水状況写真 駒ヶ根出張所
26	写真帳	H11.6.30 出水状況写真 飯田管内
27	書類綴	「五十年のあゆみ」原稿

表 2-2 収集文献リスト(2/8)

No.	分類	タイトル
28	写真帳	天竜川沿川(碑・河床 S54 藤沢)
29	写真帳	No.1
30	書類綴	昭和 28 年 天竜川災害工作物調査書(3)
31	写真帳	台風 20 号による被災写真 昭和 39 年 9 月 25 日
32	写真帳	昭和 40 年 4 月調査 諏訪地区現況写真集
33	書類綴	昭和 37 年 治水経済調査の概要
34	書類綴	昭和 34 年度 昭和 34 年天竜川災害調査書
35	書類綴	総合土砂に関する事務所間の会議
36	航空写真	天竜川上流地区写真
37	書類綴	出水の記録
38	書籍	東海地方に影響のあった台風
39	報告書	昭和四十二年五月～六月 湧水調査記録
40	書類綴	昭和二十三年六月より二十四年九月に至る 洪水災害関係綴
41	書類綴	昭和二十二年 昭和二十三年 昭和二十五年 昭和二十八年 洪水被害調査
42	書類綴	高水概況
43	書籍	昭和 58 年 9 月(台風 10 号)出水記録
44	報告書	釜口水門関連河川調査業務報告書
45	書類綴	諏訪湖資料
46	書籍	昭和 51 年度 ダム堆砂資料調査(泰阜ダム・平岡ダム)報告書
47	書籍	清水遺跡
48	書籍	天竜川上流 川路 竜江 竜丘地区の治水対策(泰阜ダム関係経過概要)
49	書籍	天竜川上流 川路 竜江地区の治水対策(泰阜ダム関係経過概要)
50	書籍	川路・竜江・竜丘地区に関する治水対策について
51	書籍	天竜川・川路治水論—その歴史・経過と「合意形成」の視点
52	書類綴	治水対策事業関係
53	書類綴	治水対策事業関係
54	写真帳	治水対策事業関係「模型実験・昔天竜峡・36 災」写真
55	書類綴	(裁判用資料ファイル)No.1
56	書籍	天竜川 治水と利水
57	書籍	小渋川総合開発事業調査書
58	書籍	昭和 30 年度工事のまとめ
59	書籍	天竜川上流崩壊地調査報告書(その 2)

表 2-3 収集文献リスト(3/8)

No.	分類	タイトル
60	書籍	美和ダムの堆砂と掘削計画及び実績(浚渫計画と実績)
61	報告書	護岸工法検討報告書
62	報告書	昭和 59 年度 天竜川治水史検討業務委託 報告書(解説版)
63	報告書	河川堤防総点検 天竜川上流堤防現況平面図
64	写真帳	H6 伊北地区現況写真
65	写真帳	建設省 天竜川上流工事事務所
66	報告書	昭和 55 年度 天竜川河道計画業務委託 報告書
67	書籍	天竜川上流部 計画高水流量の検討
68	報告書	天竜川総合開発調査報告書
69	書籍	天竜川上流地質図
70	書籍	天竜川上流地質解説書
71	書籍	天竜川上流域の活断層(参考資料)
72	写真帳	龍江村地籍 天龍川堤防を対象とした六月災害による土砂堆積写真
73	書類綴	第六回 天竜川上流部土砂対策技術検討委員会
74	報告書	昭和 59 年度 河川指定区間調査委託 報告書
75	報告書	平成 10 年度 三日町護岸詳細設計業務委託 報告書
76	報告書	昭和 57 年度 天竜川上流部土砂対策検討作業業務委託 資料集(別冊)
77	報告書	昭和五十六年度 天竜川上流部治水事業 資料作成業務委託 資料編
78	報告書	昭和五十六年度 天竜川上流部治水事業 資料作成業務委託 報告書
79	写真帳	いい写真ファイル(ネガフィルム)3
80	写真帳	天竜峡付近写真集
81	写真帳	出水時写真集 天竜峡付近
82	写真帳	天竜峡～川路地区 河床上昇傾向写真
83	写真帳	天竜川堤防を対象とした 6 月災害による土砂堆積写真
84	写真帳	天竜川に関する写真(風景写真)
85	写真帳	中部電力 KK 天竜川写真集
86	写真帳	天竜川上流部航空写真図 太田切川,三峯川
87	写真帳	天竜川上流部航空写真図 天竜川(139K～169K)
88	報告書	V 伊北地区 河川改修現況調査(2 の 1)
89	報告書	昭和 59 年度天竜川水管橋地質調査委託

表 2-4 収集文献リスト(4/8)

No.	分類	タイトル
90	報告書	昭和五十年年度 松尾地先ボーリング調査報告書
91	書籍	天竜川史料
92	台帳	平成4年度 工事台帳
93	台帳	昭和63年度 工事台帳
94	台帳	平成2年度 工事台帳
95	図面	重要水防箇所等氾濫関係図 水防上最も重要な注意箇所図(霞堤)
96	航空写真	昭和56年度 天竜川上流域斜写真集(2-1)
97	航空写真	昭和56年度 天竜川上流息斜写真集(2-2)
98	写真帳	昭和63年9月発生(9月25日低気圧)天竜川上流写真集
99	写真帳	伊北地区写真集
100	台帳	河川堤防総点検 堤防台帳
101	書籍	伊那谷賛歌 天竜川上流砂防事業50年のあゆみ
102	書籍	デ・レーケとその業績
103	書籍	片桐村誌資料 古文書目録
104	書籍	語り継ぐ災害の記録 伊那谷災害記念特集号
105	書籍	信州の気候百年誌
106	書籍	天竜川—その風土と文化—
107	書籍	天龍峡 歴史と叙情
108	書籍	中部の砂防小史
109	書籍	南信州・上村 遠山谷の民俗
110	書籍	写真集 中部の水害
111	書籍	思い出のアルバムシリーズ(11) 明治・大正の上伊那
112	書籍	思い出のアルバムシリーズ(11) 昭和の上伊那
113	書籍	五十年のあゆみ
114	書籍	三六災害二十周年記念誌 恐怖の豪雨
115	書籍	体験 伊勢湾台風—語り継ぐ災害・復旧—
116	書籍	測量地図百年史
117	書籍	伊那谷の民俗
118	書籍	信州の村落生活
119	書籍	親と子の上伊那史
120	書籍	遠山まつり(写真信濃風土記3)
121	書籍	角川日本地名辞典 20 長野県
122	書籍	木曾三川治水百年の歩み

表 2-5 収集文献リスト(5/8)

No.	分類	タイトル
123	書籍	五十年の歩み
124	書籍	木曾三川流域史
125	書籍	三十年のあゆみ
126	論文	長野県下伊那郡竜東地方の地質と災害について(原稿), pp.24-27.
127	論文	生田に於ける地質と災害(原稿ノートより)
128	書籍	遠山川流域の民俗とふるさとイメージの創造
129	書籍	角川写真文庫 38 天竜川
130	書籍	美和ダム 40 年・小渋ダム 30 年 伊那谷にいきる
131	書籍	被災者が語る土砂災害体験集「まさかわが家が・・・」
132	書籍	九十九谷
133	書籍	国・県・市町村指定文化財 郷土のたから
134	書籍	館報 かみさと
135	書籍	国土問題 1980.10.vol.21 特集南木曾地方災害環境調査報告
136	書籍	近世信州伊那郡大河原村の自然環境と人間
137	書籍	増補 伊那谷の災害と凶作
138	書籍	横川山巡覧記
139	書籍	田切ものがたり 天竜川上流右岸の田切地域の歴史的考察
140	書籍	水利開発にみる中世諏訪の信仰と治水
141	書籍	目で見る 松尾のむかし
142	書籍	防災数え歌 地域の防災力を高めるために
143	書籍	伊那谷災害・浅間山災害・利用・水害地の土壌・茶臼山地すべり地土地
144	書籍	阿智川治山・七久保地すべり・変ぼう小渋川
145	書籍	地名を通して見る天竜川と人々の暮らし
146	書籍	大鹿の水害・天竜川の河床上昇・信濃川治水
147	書籍	写真集 上伊那の百年伊那・高遠及び東部・伊北編
148	報告書	特定地域(青崩地域)の治山対策調査報告書
149	書籍	伊那谷の災害
150	書籍	東野の百年誌
151	書籍	上伊那の文化財
152	書籍	伊那谷の自然
153	書籍	伊那谷自然友の会
154	書籍	SABO IN YOTAGIRI 暴れ川に豊かな溪流空間の創出
155	書籍	伊那谷の自然 第31号

表 2-6 収集文献リスト(6/8)

No.	分類	タイトル
156	報告書	一九六八年 天竜村災害調査 (災害の記録 昭和43年8月発生 前線豪雨および台風10号災害) (天竜村向方地域の調査報告 昭和43年(原稿))
157	書籍	下久堅村誌
158	書籍	伊那市狐島区誌
159	書籍	川路村水防史
160	書籍	生田村誌
161	書籍	野底山史 二
162	写真帳	竜東治山事業写真資料 No.5 昭和三六年 (写真資料)
163	写真帳	竜東治山山腹施工工事前-工事後 上久堅(写真資料)
164	写真帳	竜東治山(写真資料)
165	写真帳	竜東治山 治山施工 上久堅(写真資料)
166	写真帳	生田地区治山工事(三六災害より十年経過した今日)(写真資料)
167	写真帳	上久堅治山事業 昭和三十年代写真集NO. 1
168	写真帳	上久堅治山事業 昭和三十年代写真集NO. 2
169	写真帳	長野県西部地震による御岳崩壊の写真(カラー)
170	報告書	霞現況調査 昭和59年9月
171	書類綴	浸水被害の状況(コピー)
172	CD-ROM	平成17年3月 明治期測量図 高解像度TIFFデータ
173	書籍	天竜川原の開発と石川除け
174	書籍	天竜川に於ける河川計画の歩み
175	書籍	総合治水の思想 「天竜川流域調査書」の語りかけるもの
176	書類綴	昭和22年度工事一覧表(台帳データの出力クリップ止め)
177	図面	天竜川管内図(上流)
178	書籍	平成18年7月豪雨の記録 天竜川上流の出水
179	書籍	上伊那川たんけんブック 天竜川とわたしたちの暮らし
180	書籍	下伊那川たんけんブック 天竜川とわたしたちの暮らし
181	書籍	三六災害40周年 伊那谷の土石流と満水
182	書籍	川筋の変遷 天竜川と三峰川の場合
183	書籍	惣兵衛川除
184	書籍	災害記録(飯島町地域防災計画平成より抜粋)
185	書籍	松川町の災害履歴(松川町地域防災計画より抜粋)
186	書籍	過去に発生した災害(宮田村地域防災計画より抜粋)
187	書籍	風水害・地震の記録(駒ヶ根市地域防災計画より抜粋)

表 2-7 収集文献リスト(7/8)

No.	分類	タイトル
188	書籍	諏訪地方・災害復興の記録(56災・57災・58災)
189	書籍	昭和58年台風10号豪雨災害復興誌
190	書籍	台風10号、18号の記録昭和57年
191	書籍	諏訪湖 治水の歴史
192	書籍	東南海大地震記録集
193	書籍	諏訪湖治水利水資料
194	書籍	諏訪湖の資料 1954
195	書籍	諏訪湖・天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業、天竜川河川災害復旧助成事業
196	書籍	茅野市史下巻近現代・民俗
197	書籍	信州の民話伝説集成南信編
198	書籍	諏訪の伝説
199	書籍	土石流災害と伝承ー身近な防災のためにー笹本正治氏講演要旨
200	書籍	辰野町誌近代編
201	書籍	辰野町の誕生と伝説
202	書籍	長野県上伊那郡誌第五巻民俗篇上
203	書籍	天竜川の災害伝説
204	書籍	上伊那文化大辞典
205	書籍	箕輪町誌自然・現代編
206	書籍	伊那路 第14巻 第12号
207	書籍	上伊那郡誌5 民俗篇上
208	書籍	伊那谷 長谷村の民俗
209	書籍	第7回三峰川フォーラム配布資料
210	書籍	信州伊那 入野谷の伝承
211	書籍	駒ヶ根市誌現代編下巻
212	書籍	飯島町誌下巻現代・民俗編
213	書籍	中川村誌下巻近代・現代編 民俗編
214	書籍	上伊那たずねある記
215	書籍	図説・上伊那の歴史上巻
216	書籍	写真集 上伊那の文化財
217	書籍	伊那谷の伝説
218	書籍	伊那の傳説
219	書籍	語りつぐ天竜川(惣兵衛川除)
220	書籍	伊那 昭和三六年十月号

表 2-8 収集文献リスト(8/8)

No.	分類	タイトル
221	書籍	豊丘村民話集 第二集
222	書籍	豊丘村誌上巻
223	書籍	語りつぐ天竜川(紙芝居開墾堤防)
224	書籍	喬木村誌下巻
225	書籍	大鹿村の民話第一集 さかさいっちょう
226	書籍	大鹿村誌中巻
227	書籍	伊那谷の土石流と満水
228	書籍	下伊那の民話
229	書籍	大蛇の城 他 3 編
230	書籍	千代村誌
231	書籍	鼎町史下巻
232	書籍	上久堅村誌
233	書籍	伊那谷清内路の民俗
234	書籍	泰阜村誌下巻
235	書籍	天龍村誌
236	書籍	伊那谷の民話集
237	書籍	伊那路 昭和 36 年 10 月梅雨前線災害特集号(続)
238	書籍	災害をこえて
239	書籍	浪合村誌 下巻
240	書籍	長谷村誌 第二巻 自然編・現代社会編
241	書籍	駒ヶ根市誌 近世編Ⅱ
242	書籍	諏訪市史 上巻 原始・古代・中世
243	書籍	諏訪市史 中巻 近世
244	書籍	宮田村誌 資料編
245	書籍	清内路村誌 上巻 自然編・歴史編
246	書籍	諏訪の近世史
247	書籍	南箕輪村誌 上巻 自然編・遺跡編・信仰生活編・民俗編
248	書籍	駒ヶ根市誌 現代編 上巻
249	書籍	諏訪の自然誌 気象編
250	書籍	阿南町誌 下巻
251	書籍	清内路村誌 下巻 近現代編・民俗編
252	書籍	高遠町誌 上巻 歴史二
253	書籍	龍江村誌
254	書籍	諏訪市史 下巻 近現代

伝承手法実施で活用できる文獻

既存の災害伝承クリカブルマップに画像や図などを電子化して保存する

既存の災害伝承クリカブルマップで使用している地図を利用し、新規に「伊那谷」に隣る川の碑・レイヤーを追加する。地点をクリックすると碑の画像・碑の説明とともに建立位置の地図を作成して載せる。(一般公開を想定)

青字箇所・伝承手法実施で活用できる事項

No.	文獻分類	収本文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存・利用に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域	飯田市地域						
1	写真 ● 概	30年史	建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所	1980年3月	一式	○	○	-	伝承事例	中川村片桐田島の理兵衛堤防	天竜川上流河川事務所が企画出版された「30年のあゆみ」編集にあたり、九津見生智氏が集めた使用したカラー・モノクロ写真81点と水ガ17点が主とまとめられている。なお、「30年のあゆみ」はこのほかにも沢山の写真を使用しており、それらは担当執筆者に返却されている。	【中川村理兵衛堤防のモノクロ写真1点】 【中川村片桐田島にある昭和39年頃の理兵衛堤防の姿】	理兵衛堤防ウォーキングツアーで配布する冊子への掲載(駒ヶ根～中川村地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存
4	写真 ● 概	昭和57年 出水写真 No.2	建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所	-	一式	○	-	-	洪水被害	伊那市(高遠・美郷・富良野)	伊那市で昭和57年に建設者によって撮影された出水状況・水防作業等の記録写真93点(カラー、モノクロ、ネガなし)。	【伊那市の出水状況写真カラー、モノクロ写真93点】 ・伊那市高遠(伊那天橋、天女橋付近) ・伊那市美郷(青沢、下山田、天伯での木流し水防、上川手、上・大島、三峰川橋) ・伊那市富良野(具沼での水防作業、出水状況)		既存の伝承クリカブルマップに画像保存
5	写真 ● 概	昭和57年 出水写真 No.3	建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所	-	一式	○	○	○	洪水被害	伊那市(富良野、下新田、狐島、三峰川合流部、六軒屋) 飯島町(鳥居原・坂戸橋、小和田) 飯田市(南原橋上)	伊那市、真輪町、飯島町、豊丘村、橋本村、飯田市で昭和57年に撮影されたモノクロ写真146点(カラー、モノクロ、ネガなし)。	【伊那市の出水状況・水防作業記録カラー、モノクロ写真48点】 ・伊那市富良野(具沼での水防作業、出水状況、竜巻橋出水状況) ・伊那市(下新田、狐島、三峰川合流部、六軒屋出水状況) ・飯島町(鳥居原での出水状況水防作業、坂戸橋上流石岸の浸水状況、小和田地先水防作業)		既存の伝承クリカブルマップに画像保存
6	写真 ● 概	災害状況写真	国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	1996年5月15日	一式	○	○	-	洪水被害 土砂災害	伊那市高遠山室川 駒ヶ根市新宮川 中川村(四徳・天竜橋)	昭和59年に小笠川出張所で中島氏・着田氏の写真を集めて写真集としたものを複製して作成されたネガアルバム4,750点(カラー、モノクロ、ネガあり)。記録内容としては、昭和36年災害のようす、昭和38年災害と思われる中川村四徳・天竜橋左岸のようす及び駒ヶ根市新宮川、高遠山室川のようす、昭和58年9月洪水と思われる飯田市川路付近のようす等があげられる。このネガに関しては、すでに電子化され保管されている(CD-R2組)。	【伊那市の昭和36年災害と思われる状況モノクロ写真1点】 【伊那市高遠山室川の状況】 【駒ヶ根市の昭和36年災害と思われる状況モノクロ写真15点】 【駒ヶ根市高遠山室川の状況】 【中川村の昭和38年災害と思われる状況モノクロ写真8点】 【中川村四徳の状況】 【中川村天竜橋左岸の状況】	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 災害伝承カルタ講座での絵札素材(伊那市地域) 災害教訓伝承講座でのパネルや配布資料への素材(伊那市地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域	飯田市地域						
7	写真 ● 帳	災害状況写真	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川 上流河川事務所	1993年10月14日	一式	○	○	-	洪水被害	伊那市(貞沼、下山田、大出、芹沢、沢、宮下、棚沢、天白、上三峰、高遠、三峰川合流点、三峰川合流点、宮下、青島、押出) 飯島町(居原) 中川村(飯沼、小和田)	【伊那市の昭和57年災害における災害及び出水状況カラー・モノクロ写真91点】 ・伊那市(貞沼、下山田、大出、芹沢、沢、宮下、棚沢、天白、上三峰、高遠、三峰川合流点、三峰川合流点、宮下、青島、押出)付近の状況 【飯島町の昭和57年災害における災害及び出水状況モノクロ写真7点】 ・飯島町(居原)の状況 【中川村の昭和57年災害における災害及び出水状況モノクロ写真6点】 ・中川村(飯沼、小和田)の状況	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
11	写真 ● 帳	天竜川災害写真	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川 上流河川事務所	-	一式	○	○	○	洪水被害	伊那市(伊賀良、小佐野、旧水神橋)	【伊那市の堤防工事モノクロ写真1点】 ・昭和28年2月に撮影された上殿島における堤防法特工事の状況 【駒ヶ根市の護岸工事モノクロ写真2点】 ・昭和28年12月15日に撮影された下平における護岸工事(聖牛)の状況 ・昭和28年6月5日に撮影された大田切川での水防活動の様子(聖牛) 【飯田市における昭和36年災害と思われるモノクロ写真3点】 ・伊賀良(飯沼、小佐野、旧水神橋)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
15	写真 ● 帳	写真	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川 上流河川事務所	-	一式	-	-	○	洪水被害	飯田市(松尾) 飯田市(南原橋上流)	【飯田市のモノクロ写真2点】 ・昭和36年災害時の飯田市南原橋上流の洪水記録写真1点 ・昭和58年災害から1.5ヶ月後の飯田市松尾地区航空写真1点	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
16	写真 ● 帳	昭和36年6月 災害写真集 特にお小洪川流域に於ける	建設省中部地方建設局 備前川天竜川上流河川工事事務所	-	一式	-	-	○	土砂被害	中川村(四徳川)	中川村(四徳川合流部付近のモノクロ記録写真5点)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
21	写真 ● 帳	H11.6.30出水状況写真 伊那管内	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川上流河川事務所	-	一式	○	-	-	洪水被害	伊那市(伊那部、三峰川合流部、東春近・竜真橋、三峰川橋・美和タム)	【伊那市の出水状況カラー写真59点】 ・伊那市下流、三峰川合流点、伊那市役所前の形洲、竜真橋、ハイハイラ公園、三峰川橋、美和タム	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
22	写真 ● 帳	H11.6.30出水状況写真 駒ヶ根管内	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川上流河川事務所	-	一式	-	-	○	洪水被害	中川村(葛島、田島、小和田、小平)	【中川村の出水状況カラー写真143点】 ・小平、坂戸橋、小和田、駒ヶ根合流部、前沢川合流部、前沢川、天竜橋付近	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
24	写真 ● 帳	H11.6.30出水状況写真	国土交通省 中部地方整備局 備前川天竜川上流河川事務所	-	一式	○	-	-	洪水被害	伊那市(双葉町、伊那市福島)	【伊那市の出水状況カラー写真3点】 ・伊那市双葉町天竜川右岸 ・天竜川右岸から伊那市福島方面	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	

No.	文献分類	収集文献名	資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当エリア地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
25	写真 帳	H11.6.30出水状況 写真 駒ヶ根出張 所	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	-	一式			洪水被害	伊那市(西島・西春近・ 高遠・殿島橋) 駒ヶ根市(田切中平・下 平・菅沼・天玉橋・吉瀬 橋・小鏡治橋・天竜大 橋・駒島大橋・天竜保 宮川・窪田川・天久保夕 ム・木田切川) 飯島町(坂島・鳥居原・ 日曾利橋・与田切川) 中川村(田島・小和田・ 竹の上・下河原・天竜 橋・天の中川橋・牧ヶ原 橋・坂戸橋・飯沼橋・小 沢川)	平成11年6月30日における出水状況 の写真280点(カラー、モノあり)。 【飯島町の出水状況カラー写真40点】 ・日曾利橋、坂島、鳥居原、与田切合流線付近 【中川村の出水状況カラー写真42点】 ・小沢川合流部、天竜橋、森電所、下河原柳産場、天の 中川橋、田島排水樋管、牧ヶ原橋、小和田、竹の上、坂 戸橋、飯沼橋付近	【伊那市の出水状況カラー写真12点】 ・篠沢川、猪の沢川、殿島橋、岩沢プラント前、西島取水 堰付近 【駒ヶ根市の出水状況カラー写真82点】 ・天玉橋、田切中平、吉瀬橋、小鏡治橋、田沢川合流部、 丸塚公園、下間川合流部、新宮川、水辺の菜畑、天竜大 橋、駒島大橋、下平観測所、窪田川合流部、天久保夕 ム、天久保橋、木田切川合流部、木田切川付近	既存の伝承クリカガブルマッ プに画像保存		
26	写真 帳	H11.6.30出水状況 写真 飯田管内	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	-	一式			洪水被害	飯田市松尾 飯田市下久堅知久平 飯田市盛光寺	平成11年6月30日における飯田管内 の出水状況の写真記録(カラー、モノ あり)	飯田市松尾(飯貫沢川合流点付近) 飯田市水神橋付近 飯田市下久堅知久平 飯田市盛光寺運動公園付近 伊久間水位観測所付近	既存の伝承クリカガブルマッ プに画像保存		
27	書類 原簿	「五十年のあゆみ」 原簿	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所		72-175 299-232 357-366			洪水被害 土砂災害	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市下平 飯島町 中川村(小和田・四徳) 飯田市松尾	国土交通省中部地方整備局天竜川 上流河川事務所の50年のあゆみがま とめられた書籍(原簿、天竜川上流 部の地形地質、気象、産業や天竜川 の増減などがまとめられた「流域の概 要」、過去の洪水被害や主要治水の概 要がまとめられた「治水と災害」や 「河川事業」河川管理上の4編から構 成されているが出版には至っていな い。	【昭和28年～平成9年の伊那谷の大雨】 ・伊那谷各地の日最大降水量 【洪水年表】 ・昭和32年以前の洪水記録は主に川路水防史から、昭 和32年以降は天竜峠水観測所の最高水位が1mを超え た洪水の降水速報から抜粋している 【昭和20年洪水(台風8号・台風10号)の概要】 ・伊那谷の概要、詳細な記録は少ない 【昭和28年7月洪水の概要】 ・伊那市東春近、駒ヶ根市下平、その他の水害被害状況 写真 【昭和38年6月洪水の概要】 ・飯島町 【昭和39年10月洪水の概要】 ・三峰川流域・中川村小和田・飯田市松尾等の水害状況 写真 ・中川村四徳の土石流発生状況写真 【昭和45年6月洪水の概要】 ・堤防被災箇所 ・本川筋氾濫区域調査一覧表 【昭和57年9月洪水の概要】 ・伊那市、伊那市長谷地域の工事被害 【昭和58年9月洪水の概要】 ・市町村別被害状況 【治水の概要】 【治水のイラスト、多岐あり】 【三峰川河総合開発事業の概要】	伊那小学校学習支援の第 3回で履岸工法のイラスト 参照(伊那市地域) 飯那小学学習支援の第 3回で履岸工法のイラスト 参照(伊那市地域) 既存の伝承クリカガブルマッ プに画像保存 既存の伝承クリカガブルマッ プの表紙に履岸工法のイラストを 参考資料としてリンク		

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域	飯田市地域						
28	写真 帳	天竜川沿川(碑・河床 S54)鑑沢	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	昭和54年撮影	一式		○	○	伊那市(東春近・西春近) 駒ヶ根市(東伊那・下平・中沢) 中川村(小和田・中村・田島) 飯田市(盛光寺・飯沼・松尾)	昭和54年に天竜川沿川の石碑や河床状況を鑑沢氏が撮影した写真記録(モノクロ、河床状況一部カラー)	【水神碑・丸頂龍碑・災害復興記念碑等】 ・計112点 【河床状況写真】 ・伊那市(東伊那・東春近・西春近) ・駒ヶ根市(下平・中沢) ・中川村(小和田・中村・田島) ・飯田市(盛光寺・飯沼・松尾)	川の碑について学ぼう講座での素材提供(伊那市地域) ※該当する素材があるか要確認 ハナル展、オーブンハウス、オーブンカフェでのパネル素材(飯田市地域) ※該当する素材があるか要確認	19年度作成した語り継ぐ天竜川シリーズの川の碑」の文獻とともに既存の災害伝承クリパブルマップで使用している地図を利 用し、新規に伊那谷に残る川の碑レイヤーを追加する。地点をクリックすると、碑の画像・碑の説明とともに、建立位置の地図を伴って載せる。(一般公開を想定)	
30	書類 綴	昭和28年 天竜川災害工作物調査書(3)	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	-	一式		○	○	伊那市(新田・東春近・西春近) 駒ヶ根市(赤穂・東伊那) 飯島町(本郷・飯島・日曹利・中平) 中川村(南向・片桐) 飯田市(松尾・上郷・上久堅)	昭和28年に伊那出張所、飯田出張所でまとめた河川工作物調査及び管内の洪水や被害箇所に関する調査の記録。	【伊那市新田の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図あり】 ・昭和25年(蘆葦流失515m、耕地冠水流失58.6町歩) 【伊那市東春近の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図あり】 ・昭和13年(蘆葦流失150m、耕地流失5町歩) ・昭和19年(蘆葦流失280m、耕地冠水流失6町歩) ・昭和22年(蘆葦流失800m、耕地流失24町歩) ・昭和25年(乾電池流失300m、耕地流失3町歩) ・昭和25年(蘆葦流失1,340m、耕地流失24町歩) ・昭和28年(蘆葦破損150m) 【伊那市西春近の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図あり】 ・昭和13年(蘆葦流失200m、耕地流失冠水120町歩) ・昭和21年(乾電池流失60m、耕地冠水2町歩) ・昭和25年(耕地流失5町歩) ・昭和26年(乾電池流失20m、耕地冠水2町歩) ・昭和28年(蘆葦破損10m)	既存の伝承クリパブルマップに追加、平面図等保存 文獻を電子ファイルとして保存しなおす必要あり		
30	書類 綴	昭和28年 天竜川災害工作物調査書(3)	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	-	一式		○	○	伊那市(新田・東春近・西春近) 駒ヶ根市(赤穂・東伊那) 飯島町(本郷・飯島・日曹利・中平) 中川村(南向・片桐) 飯田市(松尾・上郷・上久堅)	昭和28年に伊那出張所、飯田出張所でまとめた河川工作物調査及び管内の洪水や被害箇所に関する調査の記録。	【駒ヶ根市赤穂の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図あり】 ・昭和13年(蘆葦流失400m、耕地冠水流失85町歩、同じ箇所破損が昭和23・25・27年にもあった) ・昭和23年(蘆葦流失80m、耕地流失7町歩) ・昭和23年(蘆葦流失280m、耕地冠水流失25町歩) 【駒ヶ根市東伊那の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図あり】 ・昭和25年(蘆葦破損100m、耕地流失2町歩) ・昭和28年(蘆葦流失100m、耕地流失2町歩)	既存の伝承クリパブルマップに追加、平面図等保存 文獻を電子ファイルとして保存しなおす必要あり		

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域		災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案	
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域							
30	書類 綴	昭和28年 天龍川 災害工作物調査書 (3)	国土交通省 中部地方整 備局天竜川 上流河川事 務所	-	一式	○	○	○	伊那市(新田・東春近・ 西春近) 駒ヶ根市(赤穂・東伊 那) 飯島町(本郷・飯島・日 曾利・中平) 中川村(南向・片桐) 飯田市(松尾・上郷・上 久堅)	昭和28年に伊那出張所、飯田出張所 で実施した河川工作物調査及び管内 の洪水や被害箇所に関する調査の記 録。	【飯島町本郷付近の堤防被害記録(伊那出張所)対応平 面図あり】 ・昭和18年(堰牛10縦流失) ・昭和25年(堰岸流失50m、耕地流失3町歩) ・昭和25年(無堤防決壊、耕地冠水流失4町歩) ・昭和25年(堰岸破損80m、耕地冠水3町歩) 【飯島町飯島付近の堤防被害記録(伊那出張所)対応平 面図あり】 ・昭和25年(無堤防決壊、耕地流失2.5町歩) 【飯島町日曾利付近の堤防被害記録(伊那出張所)対応 平面図あり】 ・昭和25年(堰岸流失200m、耕地流失3町歩) 【飯島町中平付近の堤防被害記録(伊那出張所)対応平 面図あり】 ・昭和18年(堰岸破損120m、耕地冠水9町7反歩) ・昭和25年(堰岸流失80m、耕地流失1.3町歩) 【中川村南向の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図 あり】 ・昭和25年(堰岸流失180m、耕地流失3.5町歩) ・昭和25年(堰岸流失340m、耕地流失1町歩) ・昭和25年(堰岸流失350m、耕地流失8町歩) ・昭和25年(無堤防決壊、耕地流失1.5町歩) ・昭和25年(堰岸流失180m、耕地流失1.2町歩) ・昭和25年(堰岸流失120m、耕地流失1町歩) ・昭和28年(堰岸破損200m) 【中川村片桐の堤防被害記録(伊那出張所)対応平面図 あり】 ・昭和15年(堰岸破損10m) ・昭和18年(堰岸流失120m、耕地冠水1.8町歩) ・昭和20年(堰岸流失300m、耕地流失2.5町歩) ・昭和22年(堰岸流失100m、耕地流失1町歩) ・昭和25年(堰岸流失130m、耕地冠水流失21町歩) ・昭和25年(無堤防決壊、耕地冠水15町歩内外) ・昭和25年(堰岸破損120m) ・昭和27年(無堤防決壊、耕地流失1町歩) 【飯田市松尾の堤防被害記録(飯田出張所)対応平面図 あり】 ・昭和17年(堤防決壊80m、耕地冠水16町歩) ・昭和20年(堤防決壊流失200m、耕地冠水流失80町歩) ・昭和22年(毛賀川上流堤防決壊流失90m、耕地冠水5 町歩) ・昭和24年(水神橋下流堤防流失140m、耕地冠水埋没7 町歩) ・昭和28年(水神橋下流堰固流失40m) 【飯田市上郷の堤防被害記録(飯田出張所)対応平面図 あり】 ・昭和13年(堤防決壊30m) 【飯田市下久堅の堤防被害記録(飯田出張所)対応平面 図あり】 ・昭和25年(無堤防決壊50m) ・昭和25年(無堤防決壊200m)	既存の伝承クリカブルマップ に追加、平面図等保存 文獻を電子ファイルとして 保存しなおす必要あり	既存の伝承クリカブルマップ に追加、平面図等保存 文獻を電子ファイルとして 保存しなおす必要あり	既存の伝承クリカブルマップ に追加、平面図等保存 文獻を電子ファイルとして 保存しなおす必要あり

No.	文獻分類	収蔵文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域	飯田市地域						
31	写真 ● 幟	台風20号による被災写真 昭和39年9月23日	国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	1964年9月25日	一式	○	○	-	洪水被害	飯島町与田切橋	昭和39年9月25日に発生した台風20号における被害記録写真。	・飯島町与田切橋決壊の状況写真(モノクロ、5点)		既存の伝承クリカブルマップに画像保存
34	書類 ● 図書	昭和44年度 昭和34年天竜川災害調査書	国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	-	一式	○	○	○	洪水被害 土砂災害	伊那市(長谷・高遠) 中川村渡場 飯島町(吊橋上・柳坪・青ナキ・鉄橋下) 駒ヶ根市赤穂中田切 飯田市(上久堅・下久堅)	昭和34年に天竜川上流域で発生した災害における伊那建設事務所・上伊那地方事務所・下伊那地方事務所がとりまとめた被害調査書類。工事区分や各市町村ごとに被害総量が集計されている。	【昭和34年7月15日発生の7号台風被害】 ・玉川流域の飯田市上久堅大鹿で計2箇所(伊那建設事務所) ・天竜川流域の飯田市下久堅(水神・下河原)で計2箇所(伊那建設事務所) ・根継工被害(飯田建設事務所) ・市町村別被害概況記録あり(下伊那地方事務所) 【昭和34年9月28日発生の15号台風被害】 ・三峰川流域の伊那市長谷(せ)畑で計1箇所の築堤工被害(伊那建設事務所) ・山ノ内川流域の伊那市高遠(宮下・芝平野・木下・学校下・北垣外)で計8箇所の護岸工・根継工被害(伊那建設事務所) ・小笠川流域の中川村渡場で1箇所の築堤工被害(伊那建設事務所) ・与田切川流域の飯島町(吊橋上・柳坪・青ナキ)で計4箇所の護岸工・築堤工の被害(伊那建設事務所) ・中田切川流域の飯島町鉄橋下で1箇所の護岸工被害(伊那建設事務所) ・中田切川流域の駒ヶ根市赤穂中田切で1箇所の副堰堤被害(伊那建設事務所) ・市町村別被害概況記録あり(上伊那地方事務所・下伊那地方事務所) ・下伊那郡における救助法適用市町村別被害総額を示した地図あり		既存の伝承クリカブルマップに追加、地図等保存 文獻を電子ファイルとして保存しなおす必要あり
37	書類 ● 綴	出水の記録	国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所	-	一式	○	○	○	洪水被害	伊那市 駒ヶ根市 飯田市	上伊那・下伊那地域にある天竜川水位観測所における出水記録。	・伊那、沢渡、下平、伊久間水位観測所の昭和34年から平成11年までに発生した52回に及ぶ出水時の雨量・水位・流量データ		既存の伝承クリカブルマップのトップページに参考資料としてリンクし電子保存
40	書類 ● 綴	昭和二十三年六月より二十四年九月に至る 洪水災害関係綴	建設省中部 地方建設局 天竜川上流河川事務所	-	一式	○	-	○	洪水被害	伊那市(古町・小里・東春近西島・上新田) 飯田市(松尾・上郷別府)	昭和23年6月20日の災害、および昭和24年6月22日(テラ台風)の災害に関連する災害調査等の書類を綴ったもの。	【昭和23年6月20日の災害】 ・伊那市小黒で築堤1,800m決壊、護岸撤去法面900㎡崩潰、租工880m流失被害(災害復旧平面図あり) ・伊那市東春近西島で築堤3,400m決壊、護岸撤去法面306㎡崩潰、租工374m流失被害(災害復旧平面図あり) ・飯田市松尾清水で1箇所の築堤工被害(飯田土木出張所) ・飯田市上郷別府で1箇所の築堤工被害(飯田土木出張所) ・災害の新聞記事 ・19日及び20日における飯田測候所管内の雨量データ(飯田測候所) ・水位データ 【昭和24年6月22日(テラ台風)の災害】 ・伊那市上新田で護岸150m流失被害(災害復旧平面図あり) ・伊那市東春近西島で護岸150m破壊被害(災害復旧平面図あり) ・水位データ 【昭和24年8月31日(キチイ台風)の災害】 ・伊那市上新田で護岸延長200m流失被害(災害復旧平面図、モノクロ写真2あり) ・伊那市東春近西島で護岸延長80m破壊被害(災害復旧平面図、モノクロ写真1点あり) ・雨量、水位データ 【昭和24年9月22日の豪雨災害】 ・伊那市伊那町上新田で護岸120m増設被害(災害復旧平面図あり) ・伊那市東春近西島で護岸延長188m増設被害(災害復旧平面図あり) ・雨量、水位データ		既存の伝承クリカブルマップに追加、地図等保存 文獻を電子ファイルとして保存しなおす必要あり

No	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根・中川村地域	飯田市地域						
41	書類綴	昭和二十二年、昭和二十三年、昭和二十五年、昭和二十八年 洪水被害調査	国土交通省中部地方整備局伊那河川事務所	-	一式	○	○	○	洪水被害 土砂災害	伊那市(東春近・西春近・三峰川流域・蔵沢川流域・小沢川流域) 駒ヶ根市(新宮川流域) 飯島町 中川村(南向・片桐) 飯田市(上郷飯沼・下久堅・松尾・上久堅・中吾沢川流域・羽場・長姫)	昭和22年、昭和23年、昭和25年、昭和28年に発生した洪水に関連する被害調査書類を綴じたもの。うち昭和25年6月9日～14日災害に関する伊那建設事務所と飯田建設事務所がまとめた上伊那・下伊那管内における被害概要や昭和28年7月17日災害に関する飯田市の被害記録等が記載されている。	【昭和25年6月9～14日災害】 ・伊那市で12箇所護岸築堤被害記録あり、うち東春近・西春近で6箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・伊那市三峰川流域で12箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・伊那市蔵沢川流域(旧蔵沢村・長嶽村)で40箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・伊那市小沢川流域で14箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・駒ヶ根市新宮川流域で12箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・飯島町で4箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・中川村(南向・片桐)で8箇所護岸築堤被害記録あり(伊那建設事務所) ・飯田市内上郷飯沼で1箇所堤防決壊被害記録あり(飯田建設事務所) ・飯田市内下久堅(水神・舟)で計2箇所護岸工・築堤工被害記録あり(飯田建設事務所) ・飯田市内松尾(上溝・清水・水神橋下)で計5箇所護岸工・築堤工被害記録あり(飯田建設事務所) ・飯田市内上久堅大鹿で1箇所護岸工被害記録あり(玉川流域) ・飯田市内中吾沢川流域で1箇所護岸工被害記録あり ・下伊那郡管内水害復旧工概要図あり(復旧箇所、水位観測所と記録水位表示、雨量観測所と記録雨量表示)	既存の伝承クオリカルマップに追加、地図等保存 文献を電子ファイルとして保存しなおす必要あり	
43	書籍	昭和58年9月(台風10号)出水記録	建設省中部地方建設局大赤川上流工事事務所	1984年11月	64-73 183-222 227-272 343-409	○	○	○	洪水被害 土砂災害	伊那市 駒ヶ根市 飯島町 中川村 飯田市	昭和58年9月28日から29日にかけて長野県に接近した台風10号における大赤川流域内33市町村の災害記録。各市町村ごとに被害記録がまとめられている。	【伊那市の被害】 ・伊那市下郷での護岸決壊、他被害箇所計66箇所(被害状況写真:モノクロ、5点) ・旧高遠町地域では勝沢川が氾濫、被害箇所計13箇所(被害状況写真:モノクロ、4点) ・旧長谷村地域では三軒屋で土砂流失、他被害箇所計114箇所(被害状況写真:モノクロ、3点) 【駒ヶ根市の被害】 ・駒ヶ根市中沢大曾高の土砂崩れ、他被害箇所計148箇所(被害状況写真:モノクロ、4点) 【飯島町の被害】 ・飯島町本郷護岸決壊、他被害箇所計108箇所(被害状況写真:モノクロ、4点) 【中川村の被害】 ・中川村飯沼堤防決壊、他被害箇所計9箇所(被害状況写真:モノクロ、5点) 【飯田市の被害】 ・飯田市松尾明の浸水被害、他被害箇所計320箇所(被害状況写真:モノクロ、5点) ・旧上郷町では野庭林道土石流被害、他被害箇所計15箇所(被害状況写真:モノクロ、2点) ・旧県町では山浦土砂堆積、他被害箇所計5箇所(被害状況写真:モノクロ、2点)	既存の伝承クオリカルマップに追加、地図等保存 文献を電子ファイルとして保存しなおす必要あり	

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根地域	飯田市地域						
78	● 報告書	昭和五十六年度天竜川上流節治水事業資料作成業務委託報告書	建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所 社団法人中部建設協会	昭和57年1月10-13 18	381-421 (原文複写)			○	飯田市(松尾・久堅)	昭和56年9月22日～昭和57年1月19日に実施された天竜川上流節治水事業資料作成業務委託に関する報告書。昭和初期から昭和56年までの天竜川上流節(平岡々々地点～飯田松尾川合流地点)における治水事業関係の資料を収集し、それをもとに年代別にとらえた構想を整理し、治水機軸の適正な向上に資する目的をもって整理採録されている。	【飯田市松尾・久堅地区における治水の歴史】 ・文元四年の裁許状の後に大堤防を造ったとの記録あり、文元十一年頃に松尾堤防には石が落ちたという。この地域は江戸時代の藩財政に直接響く緩衝地帯であったため、藩政としても強固な堤防を造らざるおえなかった。 ・松尾地区に強固な堤防が造られる一方で、東側の久堅地区は治水のために東へ追いやられる結果となり、堤防も対岸と比べて小規模にならざるおえなかった。 ・昭和22年に直轄に編入となり、昭和25年清水地区を主体に運河築堤等の工事が着工し、堤防築堤の嵩上げや腹付等が実施された(工事520万円弱、築堤390m・12,730㎡、運河84m・1,164㎡、掘削9,200㎡) ・昭和35年代、水神橋を中心に右岸松尾側で工事が進められていった。複固工は木工法から十字ブロックへと変わった(事業費2,300万円、築堤501m・13,820㎡、護岸2,082m・7,101㎡、掘削工2,725㎡) ・昭和36年災害により松尾・水神・成岩下河原において破堤630m・堤防決壊1,392mにより大被害を被った。 ・昭和36年災害を契機に部分的な護岸築堤工事から本格的な改修工事に移行された(昭和55年代まで)(工事12億6千4百万円、築堤83,706㎡・26万㎡の土量、護岸9,776㎡、法覆工は法砕石堤・乾葉埦り等合せ73,960㎡、総築9,7682㎡使用、掘削工は十字ブロック723,549㎡、掘削347,000㎡余り)	ハナル履、オーブンハウス、オーブンカマエでのハナル素材(飯田市地域)		
62	● 報告書	昭和59年度天竜川治水支援調査業務委託報告書(原文複写) 昭和59年度天竜川治水支援調査業務委託報告書(解説版)	建設省中部地方建設局 天竜川上流工事事務所	1985年3月	120以降 参 考資料原 文ページ 162- 221,37-47 (解説版)			○	伊那市東春近 駒ヶ根市赤穂 中川村(小和田・田島) 飯田市(盛光寺・飯沼・松尾・別府・下久堅)	明治31年頃に内務省第一土木監督署によって執筆採録されたものと考えられている。「天竜川流域調査書其の一」の原文複写とそれらを解説した解説版。治水三法(河川法・砂防方・森林法)が制定された時期(1890年代後半)の天竜川流域の基礎的調査の集大成。 参 考 文 献 と し て、「軍本軍之訓(昭和11年7月)」「高水工事・治水工学第5編(192-221)」「屈内開夫(昭和59年3月)」「天竜川・太田切川合流節における大田原川森林の造成と崩落に関する都市近郊保安林の防災機能に関する基礎的研究」37-47頁掲載されている。	【水利に障害を及ぼすへ評議】 ・上伊那、下伊那地域の山林伐採の歴史等 【伊那市東春近の水害記録】 ・寛永年中、安政元年四月十日、元治元年 【駒ヶ根市赤穂の水害記録】 明治十八年七月 【中川村小和田の水害記録】 ・正徳五年、安永八年八月二十六日、寛政元年、文政十一年、安政四年七月二十九日、明治元年戊辰年五月十八日、明治十四年九月十三日、明治十五年八月、明治十八年七月 【飯田市松尾の水害記録】 ・元三年五月十八日、明治元年五月十八日 【飯田市下久堅の水害記録】 ・寛永五年八月十四日、明治元年五月十八日 ・正徳五年八月 【飯田市飯沼の水害記録】 ・正徳五年八月、明治元年五月十八日 【飯田市別府の水害記録】 ・正徳五年八月 【蛇かご・聖牛等の工法説明】 【大田原川森林の造成と崩落の経緯(駒ヶ根市赤穂)】	既存の伝承クリリカブルマップ ブツアップページに参考資料 としてリンク		

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
99	● 図面	重要水防箇所等氾 濫調査図 水防上 最も重要な注意箇 所図(霞堤)	建設省中部 地方建設局 天竜川上流 工事事務所	-	一式	○	○	○	伊那市西町 駒ヶ根市(東大久保・菅 沼) 飯島町(小平・飯島・本 郷) 中川村(飯沼・小平・中 村・南田島) 飯田市(上郷渡場・松 尾)	天竜川上流域における重要水防箇所 等氾濫区域と水防上最も重要な注意 箇所として霞堤の位置が1/5000平面 図に示されている。作成された昭和59 年頃と思われる。	【伊那市地域における霞堤箇所】 ・伊那市西町1箇所 【駒ヶ根市～中川村地域における霞堤箇所】 ・駒ヶ根市東大久保1箇所 ・駒ヶ根市菅沼1箇所 ・飯島町中平1箇所 ・飯島町飯島1箇所 ・飯島町本郷1箇所 ・中川村飯沼1箇所 ・中川村小平1箇所 ・中川村中村1箇所 ・中川村南田島1箇所 【飯田市地域における霞堤箇所】 ・飯田市上郷渡場1箇所 ・飯田市松尾1箇所	伊那小学校学習支援 の第3回で霞堤防参照 (伊那市地域) 理兵衛堤防ウォーキン グツアーで配布する冊 子コラム参照(駒ヶ根～ 中川村地域) パネル展、オーブンハ ウス、オーブンカフェで のパネル素材(飯田市 地域)		
100	● 台帳	河川堤防総点検 堤防台帳	建設省中部 地方建設局 天竜川上流 工事事務所 m	1977年6月	様式5の 1-5 様式6の 2-3 12-16 18-19	○	○	○	飯田市(飯田・松尾・下 久堅) 中川村(飯田島・片桐 小和田・飯沼) 駒ヶ根市(赤穂・中沢) 伊那市(西町・狐島・西 春近・富巣)	昭和52年6月に中部地方建設局天竜 川上流工事事務所で河川堤防総点 検の業務に伴い作成した堤防台帳の 記録。既往出水の状況(様式5)に関 しては、堤防の破堤や法面崩れ、漏 水のあった洪水について河川の出水 状況が記録されている。また、堤防被 災の状況(様式6)に關しては、様式5 であげた出水により被害を受けた箇 所毎に詳細な災害の状況が記録され ている。	【昭和20年10月6日(9号台風・低気圧前線)出水状況】 ・飯田市飯田松川流域の飯田付近で出水の記録 【昭和25年6月9～14日(梅雨前線)出水状況】 ・飯田市飯田松川流域の飯田付近で出水の記録 ・駒ヶ根市赤穂付近で出水の記録 ・伊那市三峰川天竜川合流点より上流の西町・狐島付近 で出水記録 【昭和28年7月19日(前線停滞)出水状況】 ・飯田市飯田松川流域の飯田付近で出水の記録 ・駒ヶ根市赤穂付近で出水の記録 【昭和38年6月26日～29日(梅雨前線)出水状況】 ・飯田市飯田松川流域の飯田付近で出水の記録 ・飯田市松屋水俣の天竜川左岸で破堤50m被害 ・飯田市松尾の天竜川右岸で破堤470m被害 ・飯田市下久堅流石の天竜川左岸で破堤100m被害 ・中川村南田島の天竜川右岸で破堤500m被害 ・中川村片桐の天竜川右岸で破堤300m被害 ・中川村小和田の天竜川右岸で破堤300m被害 ・駒ヶ根市赤穂付近で出水の記録 ・駒ヶ根市中沢菅沼の天竜川左岸で破堤160m被害 ・伊那市三峰川天竜川合流点より上流の西町・狐島付近 で出水記録 【昭和45年6月14日～15日(梅雨前線)出水状況】 ・飯田市飯田松川流域の飯田付近で出水の記録 ・中川村飯沼の天竜川左岸で破堤115m被害 ・駒ヶ根市赤穂付近で出水の記録 ・伊那市三峰川天竜川合流点より上流の西町・狐島付近 で出水記録 ・伊那市西春近下島の天竜川左岸で法面前壊104m被害 ・伊那市富巣松井の天竜川左岸で破堤250m被害	既存の伝承クワカブルマッ プに追加		

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文献概要	記録事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 中川村 地域	飯田市 地域						
110	● 書籍	写真集 中部の水 書	社団法人 中 部建設協会	1981年11月	38 45-47 55-56 58 67	○	○	○	洪水被害 土砂災害	伊那市(美濃・長谷・高 遠) 駒ヶ根市新宮川 飯島町(日曾利・鳥居 原) 中川村(四徳・桑原) 飯田市(松尾・野庭川・ 伊賀良・丸山・城下・上 郷)	【昭和25年6月洪水記録写真計1点】 ・飯田市内郷での水防活動のようす(モノクロ写真1点) 【昭和38年6月洪水記録写真計17点】 ・伊那市美濃での三崎川氾濫状況と水防活動のようす (モノクロ写真2点) ・駒ヶ根市長谷での三崎川氾濫のようす(モノクロ写真1点) ・駒ヶ根市日曾利での土石流のようす(モノクロ写真4点) ・飯島町鳥居原での洪水被害のようす(モノクロ写真1点) ・中川村四徳や桑原での土石流のようす(モノクロ写真3 点) ・飯田市松尾での堤防決壊のようす(モノクロ写真1点) ・飯田市野庭川での土石流のようす(モノクロ写真1点) ・飯田市伊賀良での土石流のようす(モノクロ写真1点) ・飯田市丸山での土石流のようす(モノクロ写真1点) ・飯田市内郷での土石流のようす(モノクロ写真1点) ・飯田市峠での土石流及び踏切決壊のようす(モノクロ写 真2点) 【昭和49年7月洪水記録写真計2点】 ・伊那市高遠郷の木での飯治川氾濫のようす(モノクロ写 真1点) ・伊那市高遠郷の沢の土石流のようす(モノクロ写真1点)	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地域) 災害伝承カルタ講座で の絵札素材(伊那市地 域) 災害教訓伝承講座での パネルや配布資料への 素材(伊那市地域) パネル展、オープンハ ウス、オープンカフェで のパネル素材(飯田市 地域)	既存の伝承クリカブルマッ プに画像保存	
111	● 書籍	思い出のアルパム シリーズ(11) 明治・ 大正の上伊那	株式会社 郷 土出版社	1983年4月	48 50-51 140-146	○	○	-	洪水被害 土砂災害 伝承事例	伊那市(高遠・伊那大 橋・三崎川橋) 駒ヶ根市天竜大橋 飯島町日向沢 中川村(田島・片桐・天 竜橋・坂戸橋)	【伊那市地域の記録写真計3点】 ・明治末頃における伊那市高遠にある天竜大橋の姿(モノク ロ写真1点) ・明治末頃における伊那市にある伊那大橋の姿(モノクロ 写真1点) ・大正8年における伊那市長谷にある三崎川橋の姿(モノ クロ写真1点) 【駒ヶ根市～中川村地域の記録写真計8点】 ・明治末頃と明治35年頃における駒ヶ根市天竜大橋の姿 (モノクロ写真2点) ・大正12年における飯島町にある伊那郡日向沢鉄橋での 水害のようす、河床から10m以上に架けられた鉄橋上に 2000番の天石が乗り上げら(モノクロ写真1点) ・明治40年における中川村田島にある理兵衛堤防の姿 (モノクロ写真1点) ・大正12年における中川村片桐大郷での災害のようす (モノクロ写真2点) ・大正13年2月9日における中川村にある天竜橋の姿(モ ノクロ写真1点) ・中川村にある坂戸橋の姿(モノクロ写真1点)	理兵衛堤防ウォークン グツアーで配布する冊子へ の掲載(駒ヶ根～中川村 地域)	既存の伝承クリカブルマッ プに画像保存	

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域		災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域						
112	● 書籍	思い出のアルバム シリーズ(1) 昭和 の上伊那	株式会社 郷 土出版社	1983年3月	73-75 154-157	○	○	洪水被害 土砂災害	伊那市(桜橋・西春近・ 美濃) 駒ヶ根市(赤穂・中沢・ 新宮川) 中川村(天竜橋・四徳)	上伊那における昭和時代の戦前・戦 中・戦後のようすを約400点からなる 写真で綴った写真集。各地域・各時代 のものもほぼ概観的な写真が厳選され ており、昭和38年3月7日に発行され、	【伊那市地域の記録写真集計15点】 ・昭和9年頃における伊那市桜橋流失のようす(モノクロ 写真1点) ・昭和33年9月の20号台風における伊那市西春近下小出 での復旧作業のようす(モノクロ写真3点) ・昭和38年災害における伊那市美濃上川手の三峰川破 堤のようす(モノクロ写真1点) 【駒ヶ根市～中川村地域の記録写真集計14点】 ・昭和12年4月2日における駒ヶ根市赤穂玉屋町大火のよ うす、銀座通り商店街7戸全半壊(モノクロ写真1点) ・昭和13年の水害における駒ヶ根市中沢桜橋崩壊のよ うす(モノクロ写真1点) ・昭和13年7月5日の豪雨における駒ヶ根市中沢付近の 新宮川氾濫のようす(モノクロ写真2点) ・昭和38年災害における駒ヶ根市新宮川の土石流被害 のようす(モノクロ写真1点) ・昭和38年災害における駒ヶ根市での被災者のようす(モ ノクロ写真6点) ・昭和9年6月21日の洪水における中川村天竜橋付近増 水のようす(モノクロ写真1点) ・昭和9年頃の増水における中川村(天竜橋付近と思わ れる)での水防活動のようす(モノクロ写真1点) ・昭和25年6月18日の洪水における中川村天竜橋付近増 水のようす、翌日天竜橋流失(モノクロ写真1点) ・昭和36年災害における中川村四徳での土石流災害の ようす(モノクロ写真3点)	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地域) 災害伝承カルタ講座で の送札素材(伊那市地 域) 災害教訓伝承講座での パネルや配布資料への 素材(伊那市地域)	既存の伝承クリカブルマップ に画像保存
114	● 書籍	三六災害二十周年 記念誌「恐怖の豪 雨	上郷村職員 互助会	1981年10月	全て	-	○	洪水被害 土砂災害 伝承事例	飯田市上郷	昭和38年災害から20年目にあたる昭 和58年に当時上郷町役場職員が三 六災害文庫編集特別委員会を設 けし三六災害記念誌発行に向けて協議 をはじめ、昭和58年6月26日に発行さ れた飯田市上郷における三六災害の 記録。記録内容としては、災害のよ うすや罹災後のようすを物語るモノクロ 写真76点からなる写真集と被災者や 災害に関わった108名のさまざまな体 験や思いが文章や絵などで綴られた 文集、及び未曽有の災害を記録した 関係資料が掲載されている貴重な 文獻である。	【飯田市上郷における災害記録】 ・正徳五年六月十七日(未済水):野底川氾濫、旧別府村 で田94反6畝・畑3町1反(氾濫水、土曹川通りで8段流 失、天竜新田で田2町歩流失、野底川三ツ井切れる 。寛政元年六月十八日(西済水):十八日八つ時松川の 上橋・野底川の上橋落ちる。天竜川出水騒しく正徳の 水よりも甚だし、土曹川防大被害。 ・天保七年八月十三日(大風):座光寺で住宅11軒倒壊。 納屋など多く潰れる。樹木倒壊被害が飯沼10軒・下黒田 9軒、善正明神の森風倒木多し。 ・慶応元年五月十七日(大済水):洪水にて加賀沢野底橋 流失、野底橋の流石にて加賀沢橋穴ける上街道の橋は 残らず流失、家屋の流失相当あり。 ・明治29年7月22日(大洪水):上郷・飯沼・南条・別府・天 竜川沿い6町5反流失、松川筋・薬師下町6反・別塚2町 5反流失。 ・大正5年11月10日(豪雨):小丘馬場大破。 ・昭和28年7月(豪雨):飯田、下伊那地方で死者7名、 行方不明者9名、負傷者169名、流失家屋83戸と罹災者 431名、天竜川とその水系の河川氾濫、堤防決壊田畑流 失。 ・昭和28年7月28日(大雷雨):土曹川氾濫、耕地流失1町 3反、ため池決壊、灌漑決壊500m。 ・昭和32年6月27日・28日(台風5号):耕地流失4反、耕地 埋没2町、冠水30町、橋梁流失3橋、堤防決壊300m、林 道決壊680m、林道橋4橋流失、山地崩壊13町。 ・昭和34年9月26日(台風15号、伊勢湾台風):旧上郷村 で全壊2軒、半壊2軒、一部損壊100軒。 ・昭和36年6月27日～30日(豪雨、三六災害):死者3名、 負傷者5名、家屋流失34世帯、家屋半壊17世帯、床上床 下浸水230世帯、耕地被害35丁歩、橋梁6橋流失3橋決 壊、林地崩壊15ha	ハスル履、オーブンハウ ス、オーブンカバーでのパ ネル素材(飯田市地域)	既存の伝承クリカブルマップ に活用

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域		災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域						
125	● 書籍	三十年のあゆみ	建設省中部 地方建設局 天竜川上流 工事事務所	昭和55年3月	10-12 93-94 107-108	○	○	○	伊那市(東春近・新田・西春近・田原・飯島・西野・野島・美濃・高遠・長谷・三峰川) 駒ヶ根市(赤穂・中沢・大久保・新宮川) 飯島町(鳥居原・中平) 中川村(徳島・坂戸・南向・南田島・中村・小和田・渡場・四徳) 飯田市(松尾・下久堅・野底川)	建設省中部地方建設局天竜川上流工事事務所の30年のあゆみがまどわらわら書籍。天竜川上流域の地形・地質・気象・産業や天竜川の特徴などがまどわらわらとて、天竜川の洪水特性や過去の洪水被害や主要洪水の概要がまとめられた「洪水と災害」や「河川改修事業」「河川管理」「水防」と洪水予報「河川総合開発事業」「砂防事業」「用地及び補償」の8編から構成されており、事務所で保管している気象データ等の各種データや記録写真も多く掲載されている。昭和55年3月に発行されたものである。	【天竜川における洪水年表】 ・主に川路水防史の記録より抜粋した天竜川の洪水記録をもとに作成された西暦1915年から1977年までの洪水年表 【天竜川における洪水年表】 ・昭和20年から昭和52年までの31年間に天竜川で観測された年最高水位を発生した洪水の概要についてまとめられている 【昭和28年7月洪水の記録写真計2点】 ・伊那市東春近上飯島における災害状況の記録写真1点(モノクロ) ・駒ヶ根市赤穂下平天竜大橋の増水状況の記録写真1点(モノクロ) 【護岸工法の変遷】 ・多数のイラストと写真で昭和25年～昭和30年代にかけて行われた河川工事の代表的な工法がわかりやすく紹介されている	伊那小学校学習支援の第3回で護岸工法のイラスト参照(伊那市地域) ※資料No.2「五十年のあゆみ」原稿に掲載されているイラストと同じを確認	既存の伝承クリカブルマップに画像保存
									【昭和36年6月洪水の被害記録】 〈伊那市地域〉 ・伊那市上新田:床上浸水3戸(天竜川本川筋氾濫調査一覧表より) ・伊那市新田:欠損150m(堤防被害箇所一覧表より) ・伊那市東春近沢田:床上浸水10戸(天竜川本川筋氾濫調査一覧表より) ・伊那市西春近下島:欠損150m(堤防被害箇所一覧表より) ・伊那市上飯島:欠損92m(堤防被害箇所一覧表より) ・伊那市西野:欠損340m(堤防被害箇所一覧表より) ・伊那市三峰川石岸堤決壊の状況、航空写真1点(モノクロ) 〈駒ヶ根～中川村地域〉 ・駒ヶ根市中沢:破壊160m、欠損170m(堤防被害箇所一覧表より) ・飯島町鳥居原:床上浸水2戸(天竜川本川筋氾濫調査一覧表より) ・中川村葛島:床上浸水14戸(天竜川本川筋氾濫調査一覧表より) ・中川村葛島:欠損50m(堤防被害箇所一覧表より) ・中川村坂戸:床上浸水3戸(天竜川本川筋氾濫調査一覧表より) ・中川村南田:欠損170m(堤防被害箇所一覧表より) ・中川村南田島:破壊560m、欠損150m(堤防被害箇所一覧表より) ・中川村中村:破壊315m、欠損80m(堤防被害箇所一覧表より) ・中川村小和田:破壊300m、欠損400m(堤防被害箇所一覧表より) ・駒ヶ根市新宮川筋氾濫の状況、航空写真1点(モノクロ) ・駒ヶ根市新宮川における土砂の堆積状況、航空写真1点(モノクロ) ・駒ヶ根市下割での土石流のようす記録写真1点(モノクロ) ・中川村小和田の決壊状況、航空写真1点・地上写真1点(モノクロ) ・中川村南田島の決壊状況、航空写真1点(モノクロ) ・中川村四徳川の崩壊と堆砂状況、航空写真1点(モノクロ)	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 災害伝承カルタ講座での総礼素材(伊那市地域) 災害教訓伝承講座でのパネルや配布資料への素材(伊那市地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存		

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モジュール地域		災害種別	該当市町村や地域名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域						
125	● 書籍	三十年のあゆみ	建設省中部地方建設局 天竜川上流 工事事務所	昭和55年3月	10-12 93-94 107-108	○	○	○	伊那市(東春近・新田・西春近・田原・駒島・西駒・富巣・美濃・高遠・長谷・三峰川) 駒ヶ根市(赤穂・中沢・大久保・新宮川) 飯島町(馬居原・中平) 中川村(葛島・飯戸・南向・南田島・中村・小和田・渡場・四籠) 飯田市(松尾・下久堅・野底川)	(飯田市地域) ・松尾水神下島:半壊2戸、床上床下浸水9戸(天竜川本川筋氾濫調査一覽表より) ・松尾水神:破壊50m、穴損570m(堤防被害箇所一覽表より) ・松尾清水:全壊14戸、半壊28戸、床上床下浸水120戸(天竜川本川筋氾濫調査一覽表より) ・松尾清水:穴損315m(堤防被害箇所一覽表より) ・松尾:全壊2戸、半壊4戸、床上床下浸水8戸(天竜川本川筋氾濫調査一覽表より) ・松尾:破壊480m(堤防被害箇所一覽表より) ・松尾弁天:穴損50m(堤防被害箇所一覽表より) ・下久堅下河原:穴損177m(堤防被害箇所一覽表より) ・下久堅虎岩:破壊100m、穴損280m(堤防被害箇所一覽表より) ・飯田市野底川の氾濫状況、航空写真1点(モノクロ)	パネル展、オープンハウス、オープンカフェでのパネル素材(飯田市地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存	
									【昭和45年6月洪水の被害記録】 (伊那市地域) ・伊那市西春近田原:決壊258m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市西春近下牧:決壊415m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市西春近木:決壊150m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市西春近下小出:決壊151m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市西春近下島:決壊28m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市西春近下新田:決壊56m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市下新田:決壊56m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市東春近六軒屋:決壊80m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市東春近上田:決壊203m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市東春近西島:決壊150m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市東春近中殿島:決壊150m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市東春近権原:決壊287.3m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市富巣椋井:破壊250m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市富巣松井夫圃:穴損145m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市美濃声沢:穴損90m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・伊那市高遠:床上浸水2戸(天竜川本川筋氾濫区域一覽表より) ・伊那市長谷:床上浸水10戸(天竜川本川筋氾濫区域一覽表より)				
									建設省中部地方建設局天竜川上流工事事務所の30年のあゆみが中心の地質・気象・産業や天竜川の特徴などがまとめられ、概説し、天竜川の洪水の特性や過去の洪水被害や主要洪水の概要がまとめられた「洪水と災害」や「河川改修事業」「河川管理」「水防」と洪水予報「河川総合開発事業」「砂防事業」用地及び補償の8編から構成されており、事務所で保管している写真も多量に掲載されている。昭和55年3月に発行されたものである。	【昭和45年6月洪水の被害記録】 (駒ヶ根～中川村地域) ・駒ヶ根市:床上浸水14戸(天竜川本川筋氾濫区域一覽表より) ・駒ヶ根市東伊那大久保:決壊241m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・飯島町:床上床下浸水23戸(天竜川本川筋氾濫区域一覽表より) ・飯島町中平:決壊200m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・中川村南向飯沼:床上浸水1戸(天竜川本川筋氾濫区域一覽表より) ・中川村南向飯沼:決壊62m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・中川村下河原:決壊80m(堤防被災ヶ所一覽表より) ・中川村小和田:決壊160m(堤防被災ヶ所一覽表より)			

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域		災害種別	該当市町村や地名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存・利用に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域						
125	書籍	三十年のあゆみ	建設省中部地方建設局 地方建設局 天竜川上流 工事事務所	昭和55年3月	10-12 93-94 107-108	○	○	伊那市(真春近・新田・西春近・田原・蔵島・西田・富原・美濃・高遠・長谷・三峰川) 駒ヶ根市(赤穂・中沢・大久保・新富川) 飯島町(鳥居原・中平) 中川村(葛島・何戸・南田・渡場・四徳) 飯田市(松尾・下久堅・野底川)	建設省中部地方建設局天竜川上流工事事務所の30年のあゆみがまとめられた書籍。天竜川上流域の地形・地質・気象・産業や天竜川の洪水特性や過去の洪水被害や主要洪水の概要がまとめられた。洪水と災害や河川改修事業「河川管理」「水防」と洪水予報「河川総合開発事業」「砂防事業」「用地及び補償」の8編から構成されており、事務所で保管している。昭和55年3月に発行されたものである。	【理兵衛堤防】 ・理兵衛堤防の状況写真4点(モノクロ) ・理兵衛堤防の図(中川村荒井米村家文書) 【理兵衛堤防築造年譜】 ・寛政三年、築造の事幕府に願い出たところ直ぐ許可事始む ・宝暦六年、大洪水で前に築いた堤防が流される ・明和八年、寛政三年より21年間に5度築堤、この間年代その他不明であるが、大石積によって前沢川30間、本川通りは前沢川合流点により下流青島山迄にいたる長さ500間の堤防を築いた、これに要した費用は5000両、人約12万人 ・安永元年、理兵衛堤防工事始める(理兵衛忠房)中にいり、理兵衛堤防より(大石種堤防)延長100間、馬路2間半、高さ4間半、馬路より石工来りて築く ・安永七年、大洪水で決壊れ築工する ・天明三年、子理兵衛高島父の跡を継ぐ ・天明五年、理兵衛常高大津に客死する ・寛政元年、大洪水で決壊れ築工する ・寛政四年、大洪水で決壊れ築工する ・文化四年、大洪水 ・文化五年、孫理兵衛忠高父常高の跡を継ぐ、大洪水、文化四年、五年と相次いで大洪水を受け堤防の破損多い、20間の築堤と隣付50間の積石(落石)理立により堤防補強 ・文政六年、理兵衛忠房死す ・天保六年、理兵衛忠房死す	理兵衛堤防ウォークン ツアーで配布する冊子への掲載(駒ヶ根～中川村地域)		
									【三峰川右岸の霞堤の歴史】 ・天明年間高遠藩主において御旨通しと称する堤防を、以後70年間保たれた(長野県に提出された工事上願書より) ・明治元年の洪水で堤防が決壊し全長別43町歩余り(うち20町歩余り)水害を被った(長野県に提出された工事上願書より) ・藩主において15号の杭樁節節所より砂利堤防(根張8間、高さ2.5間、延長160間の樁堤防)を築く(長野県に提出された工事上願書より) ・明治15年10月の出水によりこの堤防105間が流失、以降年々官費を仰ぎ又民費をもって修復した(長野県に提出された工事上願書より) ・明治18年の洪水のため脚置地はもろろ稲田大半を流失し、人家18戸へ浸水し人民生活の途を失い非常の困難に陥った(長野県に提出された工事上願書より) ・明治21年、地元の青島の大地主であった横川庄太郎が地主種鳥人総代となり、堤防の築造を行ない、苦節50年をかけた堤防の築造に全長三峰川右岸霞堤を構築した。 ・工事は脚置地を築造し築造計画や築造計画を立案し、さらに費用調達してその内容を果に請願して許可を得た。 ・堤防の構造は上川手から青島に至る間に3ヶ所の霞堤を設け、堤内地に横堤としてまき出ししている部分は葦のり勾配2割、堤防高さ1.5間、馬路幅2間、川にそった部分は葦のり勾配5分、堤防高さ2～3間となっている。堤防上には水防時の流木(アオイと地元では称されている)の目的を持って桜・ボプラ・アカシアなどが大正3～8年にかけて植樹された。 ・三峰川右岸霞堤の記録写真1点(モノクロ)あり	伊那小学校学習支援 の第3回で霞堤防参照 (伊那市地域) 災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 災害伝承カルタ講座での絵札素材(伊那市地域) 災害教訓伝承講座でのハネルや配布資料への素材(伊那市地域)			

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
125	書籍	三十一年のあゆみ	建設省中部 地方建設局 天竜川上流 工事事務所	昭和55年3月	10-12 93-94 107-108	○	○	○	伊那市(真春近・新田・ 西春近・田原・麻島・西 町・富良・美濃・高遠・長 谷・三峰川) 駒ヶ根市(赤穂・中沢・ 大久保・新宮川) 飯島町(鳥居原・中平) 中川村(意島・坂戸・南 向・南田島・中村・小和 田・渡場・四徳) 飯田市(松尾・下久堅・ 野底川)	建設省中部地方建設局天竜川上流 工事事務所の30年のあゆみが主たる 内容。天竜川上流域の地形・地 質・気象・産業や天竜川の洪水 が主とられ「罹災」、天竜川の洪水 特性や過去の洪水被害や主要洪水 の概要がまとめられた「洪水と災害」 や「河川改修事業」「河川管理」「水防 と洪水予報」「河川総合開発事業」「砂 防事業」用地及び補償の8編から構 成されており、事務所で保管している 気象データ等の各種データや記録写 真も多く掲載されている。昭和55年 3月に発行されたものである。	【水神】 ・伊那市稲島(1884+100・堤防裏肩)にある九頭龍神 ・伊那市伊那大橋の西詰にある伊那井財天の写真1点 (モノクロ) ・伊那市高遠にある草場井財天の写真1点(モノクロ) ・飯島町中平(175K)にある水神像の写真1点(モノクロ) ・中川村意島(165K+100・旧堤)にある水神像の写真1 点(モノクロ) ・中川村田島天の中川橋下右岸にある九頭龍神の写 真1点(モノクロ) ・飯田市松尾にある松尾井天殿宮神社の写真1点(モノ クロ) 【河川改修碑】 ・伊那市真伊那田原(187K)にある天龍川改修記念碑の 写真1点(モノクロ) ・伊那市西春近木(186K)にある修堤碑の写真1点(モ ノクロ) ・駒ヶ根市中沢にある38.6洪水復興記念碑の写真1点 (モノクロ) ・中川村小和田(167K)にある復興記念碑の写真1点(モ ノクロ) ・中川村渡場(1628K)にある下河原復興之碑の写真1点 (モノクロ) ・飯田市松尾にある井天引堤記念碑の写真1点(モノク ロ)	川の碑について学ぼう講 座での素材提供(伊那市 地域) ハネル屋、オープンハウ ス、オープンカフェでのハ ネル素材(飯田市地域) ハネル屋、オープンハウ ス、オープンカフェでのハ ネル素材、伝説集の素材 (飯田市地域)	19年度作成した語り継ぐ 天竜川シリーズの「川の 碑」の文獻とともに既存の 災害伝承クリファルマップ で使用している地図を利 用し、新編に伊那谷に残 る川の碑レイヤーを追加 する。地点をクリックすると 碑の画像・碑の説明なども に連立位置の地図を作成 して載せる。(一般公開を 想定)	
133	書籍	国・県・市町村指定 文化財 郷土のた から	飯田文化財 の会	昭和46年8月1日	70-72	-	-	○	飯田市座光寺	飯田市・下伊那郡周辺の間・県・市・町 村によって指定された文化財につい て記述されている。また、史跡や地碑 に伝わる昔話、天竜川の氾濫原の開 拓史など記述されている。	【信能堤防】(飯田市座光寺) ・毎年暮時期に濁流が氾濫し、利用されていなかった座 光寺河原を良田に変えるため、北原米太郎が私財を投じ て二十年間の辛苦を重ね、子弟とともに明治40年に完成 させた石壁堤 【北原米太郎の碑】(飯田市座光寺) ・信能堤防の築設者の功績を稱えるために建立された ・北原米太郎の碑の写真1点あり	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地 域) 災害伝承カルタ講座で の発札素材(伊那市地 域)	既存の伝承クリファルマッ プに画像保存	
147	書籍	写真集 上伊那の 百年 伊那・高遠及び東 部・伊北編	北原真人 萩原貞利 榎木豊二 堀口眞幸 春日公夫	昭和53年6月24日	181-182	-	-	-	伊那市(二条橋・水神 橋・美濃・川北)	上伊那における百年の歴史を約480 点におよぶ記録写真で綴られた写真 集。昭和53年6月24日に発行された。	【伊那市地域の記録モノクロ写真4点】 ・昭和8年(室戸台風)における伊那市二条橋神像のよう す(モノクロ1点) ・昭和8年頃における伊那市水神橋流失のようす(モノク ロ1点) ・昭和36年災害における伊那市美濃上大島での三峰川 氾濫のようす(モノクロ1点) ・昭和36年災害における伊那市川北での小沢川氾濫の ようす(モノクロ1点)	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地 域) 災害伝承カルタ講座で の発札素材(伊那市地 域)	既存の伝承クリファルマッ プに画像保存	

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 中川村 地域	飯田市 地域						
150	書籍	東野の百年誌	東野百年誌 編纂委員会	昭和45年12月	口絵写真 62-65 142-145	-	-	○	伝承事例	飯田市東野	飯田市東野地区の100周年記念誌。 飯田市東野地区における靖教育・歴史・地理・行政の変遷に関する記述がある。	【大宮諏訪神社への祈願】(飯田市東野) ・正徳五年(1715)未満水の時、人々が大宮の丘陵に逃げ集まり、大宮神社に加護を祈願した、すると水勢が一変し、北は野底川に南は松川へと流れが二分されて飯田城市は災害を免れたという、以後、風水書鎮座の神として崇められていた。 ・大宮諏訪神社の写真1点あり 【大宮諏訪神社の式年祭(おわらまつり)】(飯田市東野) ・正徳五年(1715)未満水の時、大宮諏訪神社高台に逃げた人々が一心に祈願をこめたところ、水勢が一変して飯田台地が文難を免れた故、飯田至時の事は限りなく敬感が敬神となり、至町あけての大祝祭を行つたのが慣例となった、七年目十支の申年と寅年の四月一日から二夜にわたり三日間行われる。	パネル展、オーブンハウス、オーブンカフェでのパネル素材、伝説集の素材(飯田市地域)	19年度作成した語り継ぐ大竜川シリーズの川の「牌」の文獻とともに既存の災害伝承クリファルマップで使用している地図を利用し、新規に伊那谷に残る川の牌レイヤーを追加する。地点をクリップすると牌の画像・牌の説明とともに建立位置の地図を作成して載せる。(一般公開を想定)
154	冊子	SABO IN YOTAGIRI 暮れ川に豊かな清流空間の創出	建設省中部 地方整備局 天竜川上流 河川事務所 飯島砂防出張所	1980年11月	一式	-	○	-	土砂災害 伝承事例	飯島町(飯島第5ダム・与田切川)	与田切川流域の概要や砂防の歴史、および砂防事業を分かりやすくまとめた冊子。1980年11月に建設省中部地方整備局天竜川上流河川事務所、及び飯島砂防出張所が作成した。	【与田切川における明治以降の災害記録】 ・1868年5月、8月大洪水 ・1870年9月洪水 ・1875年8月洪水 ・1876年9月洪水 ・1877年10月洪水 ・1881年大洪水 ・1882年10月(災害種別不明) ・1883年6月大洪水 ・1890年7月、8月洪水 ・1896年7月洪水 ・1903年8月(災害種別不明) ・1906年7月、8月大洪水 ・1911年6月、7月大洪水 ・1925年大洪水 ・1959年8月、7号台風により被害総額2,000万円の大被害を受けた。 ・1961年6月、梅雨前線豪雨、町内に未曾有の大災害をもたらす(29,000万円) ・1964年9月、20号台風により総額27,500万円の大被害を受ける。 ・1972年7月、集中豪雨により与田切橋流失 ・1983年5月、集中豪雨により大きな被害(8億円)を受ける。 ・1983年9月、台風10号により60余億円の大被害をだす。 ・1983年7月、与田切発電所建設現場にて被溺水、死者3名	【田切地形の由来】 ・「田切」とは、河川の下刻作用によって深く陥没地が侵食された地形を指しており、陥没地の上が水田地帯となっていて田圃を切って合ができていたので、この名前がついたといわれている。	

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モジュール地域		災害種別	該当市町村や地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域						
178	● 書籍	平成18年7月豪雨の記録 天竜川上流の出水	国土交通省 中部地方整備局 備前天竜川上流河川事務所	平成18年11月	一式	○	○	○	伊那市(西町・下島・下殿島・東春近・中央橋・橋沢川) 駒ヶ根市(天竜大橋) 飯島町(中平・日曾利・坂島) 中川村(田島・天の中橋・小和田) 飯田市(松尾・下久堅)	平成18年7月15日～19日に発生した豪雨災害における管内の出水状況を分かりやすくまとめた冊子。平成18年9月に国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所が作成したものである。	【伊那市の被害記録】 ・伊那市西町天竜川右岸で法保堤岸クラックの被害 ・伊那市下島天竜川左岸で護岸一部流失の被害 ・伊那市下殿島天竜川左岸で無蓋部河岸洗掘の被害 ・伊那市東春近天竜川左岸で堰面沈下の被害 ・伊那市中央橋の出水状況カラー写真1点 ・伊那市橋沢川合流点での水防活動のようすカラー写真1点 【駒ヶ根市の出水状況】 ・駒ヶ根市天竜大橋の出水状況カラー写真1点 【飯島町の被害記録】 ・飯島町中平天竜川右岸で石積み護岸一部流失の被害 ・飯島町日曾利天竜川右岸で砂礫洗掘の被害 ・飯島町坂島天竜川右岸で泥電洗掘・流失の被害 【中川村の被害記録】 ・中川村田島天竜川右岸で堤防川巻洗掘の被害 ・中川村田島にある天の中橋上流天竜川右岸で旧堤流失 ・中川村小和田地区の出水状況カラー写真1点 【飯田市の出水状況】 ・飯田市松尾での排水ポンプ車による水防活動のようすカラー写真1点 【飯田市下久堅の被害記録】 ・飯田市下久堅天竜川左岸で敷道路・高水敷被災 ・飯田市下久堅天竜川左岸で堤防法肩クラックの被害	伊那小学校学習支援の第1回で参照(伊那市地域) 災害伝承番組への素材提供(伊那市地域)	既存の伝承クリカブルマップに画像保存
190	● 書籍	台風10号、18号の記録 昭和57年	長野県土木部河川課	昭和58年8月25日	14-15 28-43 46 53 55 72-73 78 85-83 97 122-123	○	○	○	伊那市(高遠・長谷含む) 伊那市(山室川・美和ダム・半刈川) 中川村	昭和57年8月1日に来襲した台風10号、及び同年9月12日に来襲した台風18号による長野県内の被害記録がまとめられている。昭和58年8月25日に長野県土木部河川課が作成したものである。	【昭和57年8月1日(台風10号)に関する記録】 ・雨量データ ・時間水位表(天竜川水系) ・最高水位表(天竜川水系) ・伊那市における被害状況(床下浸水1棟) ・旧高遠町における被害状況(傷者1名、全壊家屋4棟、半壊家屋2棟、一部損壊家屋8棟、床上床下浸水70棟) ・旧長谷村における被害状況(床下浸水4棟) ・伊那市高遠山室川の冠蓋のようす記録写真2点(カラー) ・伊那市美和ダムのようす記録写真1点(カラー) 【昭和57年9月12日(台風18号)に関する記録】 ・雨量データ ・時間水位表(天竜川水系) ・最高水位表(天竜川水系) ・旧高遠町における被害状況(床上床下浸水28棟) ・中川村における被害状況(一部損壊家屋1棟) ・伊那市高遠半刈川決壊箇所復旧状況記録写真1点(カラー) ・伊那市高遠北垣外における山室川決壊箇所の復旧状況記録写真1点(カラー)		既存の伝承クリカブルマップに画像保存

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			該当市町村や地名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案								
						伊那市地域	駒ヶ根地域	駒ヶ根中川地域													
202	書籍	長野県 上伊那誌 第五巻 民俗篇上	上伊那誌編集 昭和55年1月15日	1419-1420 1422 1423 1425 1440-1441				伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	上伊那地方における風俗の歴史が多くの写真とともにまとめられ、上伊那地方に伝わる伝説や民間信仰などの記述がある。上伊那誌編集委で作成され、昭和55年1月15日に発行されたものである。	【経塚】(伊那市東春近大肝屋) ・大肝屋の裏きわに、小さな塚が点在しているが塚と書いていた。昔洪水を防ぐために築造して水難除けを祈願し、祭を埋めたところという。以前四十八ヶ所あったというが、今は開墾の跡消されてその数が少ない 【米高岩】(伊那市高遠町西高遠多町天女橋) ・天女橋の下にある。三峰川の水がその岩に当たって流れる年は、お米の値段が高いという 【風穴】(伊那市長谷市野瀬浦) ・浦村に風穴といひ伝ふる所あり。前浦奥浦の間山の尾先に松柏茂りたる森の内に、屈曲の岩重なりたる中に常に風を生ず。此岩を動かすといは穴を見んとすれば、必ず大風吹きて覆れる。よって里民制して刃りへ寄ること禁ず。此岩の上に風穴大明神という祠あり。この穴の口へ巻紙を置けば今も空へ吹き上がるぞ(木の下藤 巻之下) 【黒ヶ池】(駒ヶ根市駒ヶ岳) ・駒ヶ岳の王が燦んでいて、荒らせばたちまち雨が降るといふ。昔駒ヶ岳の麓の内の置といふ部落に母頼と二人きりで暮らしていた娘が、大蛇の化身であった若者の後を追ってこの池に身を投じ、若者は竜に、娘は鬼と化して池に棲むようになったという。黒ヶ池とも称し、千天にこの池に降り雨乞いすれば勿縁が有るといふ 【落石】(駒ヶ根市中沢上瀬) ・昔、天から落ちた石が林の中にあってそこに落石神社を祀った。母乳が出ないとき、この石にお参りし、石に生えている苔を煮て飲めば、乳の代わりになるという(中沢伝説集)	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	上伊那地方における風俗の歴史が多くの写真とともにまとめられ、上伊那地方に伝わる伝説や民間信仰などの記述がある。上伊那誌編集委で作成され、昭和55年1月15日に発行されたものである。	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島	伊那市(東春近・長谷) 駒ヶ根市(駒ヶ岳・中沢) 飯島町飯島
203	書籍	天竜川の災害伝説 柱本正治	柱本正治	平成5年3月19日	4-15 16-19			伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	天竜川を中心とする災害の伝説が取り上げられており、災害防止のようない特異な文化を生み出してきたか、把握することできる。 1冊につき天竜川パントリーズから発行されている。	【鏡ヶ池島流出と集団移住】(伊那市西春近下牧) ・昔現在の伊那市下牧の蓮沼堤防から国道153号線との間に鏡ヶ池島とよばれる島があった。鏡ヶ池島が多く住んでいたが、享保十一年(1726)の大洪水で第一四四二石の田七十四戸の全家が流出し、住人は草本村(現伊那市西春近)へ移住した。鏡ヶ池島新田(現高遠町のこらぎ)流れて、立つ所もいれなまき株、本村へ上り所どころの地これ無き者とも少々の売り家等を致し一日を送り候仕合いに候て、本村々々の困窮(鏡ヶ池島の大西家文書) 【移住した田原村新田の人々】(伊那市東春近田原) ・慶応四年(1868)五月七日から大沢川の押し出す水と天竜川の増水が重なり、田原村新田の全戸に洪水して家屋21戸・水田20町歩が消失した。このとき避難した人々のうち110戸が今でも蓮沼堤防の裏山に住み、山組部落と称して石垣つくりの住宅を構えている 【境界紛争と鼻通し祝】(伊那市伊那部狐島) ・天竜川と三峰川の合流する付近一番は、洪水の衝に川筋を奪去し川筋を奪った地区の境界紛争が絶えなかった。江戸時代の270年前で90回も洪水を引き起こした。狐島村と対岸の荒井村・四町村では、延享元年(1744)の出水時に決めた約定書と境界図がある。その図面には、境界を定むるための八箇所の測量基準の一つに「長右衛門社本板」が記録されており、残存する唯一の基点となっている	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	天竜川を中心とする災害の伝説が取り上げられており、災害防止のようない特異な文化を生み出してきたか、把握することできる。 1冊につき天竜川パントリーズから発行されている。	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
203	書籍	天竜川の災害伝説	益本正治	平成5年3月19日	4-15 16-19	○	○	○	洪水被害 土砂災害 伝承事例	伊那市(西春近・東春近・伊那部・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	天竜川を中心とする災害の伝説が取り上げられており、災害などのような特殊な文化を生み出してきたか、語らうことができる。 語りつくす天竜川シリーズから発行されている。	【東峰地蔵】(伊那市)の頃から三峰川の大満水の時、奥の方の片から石地蔵が流れてきた。水がひけてから村人が見つけ、この地に祀ったという。穢い事が叶うと年の数だけ回子をあげる。四月二十四日の穢日では、村の人たちは草餅をあげる 【おや子石】(伊那市高遠町藤澤御堂埋外)ずつとむかしのこと。大地震で地山が崩れて土砂がどどと押し出した。地山に住んでいたおや子の山犬がおつとまげて逃げ出した。御堂埋外まで来た時、山犬は藤澤の蛇抜けに押し流されて石になった。母犬と子犬は中まできてびつたりと盛り込んだまま二つの石になったという。それらの石は今はない 【お石】(伊那市高遠町藤澤御堂埋外)昔地山が押し出したとき、大石・次石・小次石の三個の石が鳴いて逃げた。大石(重石)は強いので地山のすく下に止まり、次石は8キロメートル離れた長藤石の中条という所に止まったという 【西向庵の十一面観音】(伊那市高遠)慶応四年五月十七日(辰満水)の時、西向庵のお堂が激流に吞まれる寸前、村人2、3人が身体の腰紐を大きな柏の木にしぼりつけ流死の覚悟でぐらついている堂内に飛び込み、本尊の十一面観音と釣鐘を運び出した	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 伊那小学校学習支援の校内放送による講話の素材(伊那市地域)	
											【大田切川の川除林】(駒ヶ根市下平)元禄四年(1691)の五月の霖雨、六月には天竜川に洪水があり、伊那谷に大きな被害がでた。この年大田切川と天竜川との合流点に二十数歩にわたって植林がなされた。長さ七百間、幅百間、戦後まで残存したが、現在は伐木開墾されて水田地帯に変わり、県立西駒郷ほかの施設中にわずかに松林の面影を留めている 【原本玉山の豊田の碑】(駒ヶ根市大久保)寛政元年(1789)天竜川の大氾濫により、大久保の刃り一帯は荒地化した。中村新六は原本天山につき美雪を修め、天明の飢饉に貧乏し、脚道を穿ち運防を築き、敦野歩の美田を開くといふ大業を成し遂げた。その功績をたたえ建立された碑には、大窪郡中野氏墓田 岡記天山眞逸 高橋豊隆、と碑文が彫られている。碑は花崗岩で現在風化が進み文字の判読はできない			

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域	飯田市地域						
203	● 書籍	天竜川の災害伝説	荻本正治	平成5年3月19日	4-15 18-19	○	○	○	洪水被害 土砂災害 伝承事例	伊那市(西暮近・東暮近・伊那郡・高遠) 駒ヶ根市(下平・大久保) 飯田市(上久堅・下久堅)	天竜川を中心とする災害の伝説が取り上げられており、災害がどのような特徴ある文化を生み出してきてきたか把握することができる。 「語りつぐ天竜川」シリーズから発行されている。	【大蛇が天竜川を流れていった話】(飯田市上久堅) 元二二年六月二日(1225.7.15)、雨がひどく天竜川の水は濁流がすすぎ、得たいのしれいものが沢山流れ、二丈(5、6メートル)もある大蛇も流れていったという 【四百年前の南原橋】(飯田市下久堅南原) ・四百数十年前、現在の飯田市下久堅南原にある黒瀬が淵の上へ天竜川唯一の橋がかかっていた(南原橋)、天文十三年(1544)におおった洪水で、その橋が落ちてしまった、その後ずっと橋はなく、明治二年になって赤須の山から持ってきた松の太木を使って橋がつくられた 【堤防工事と百姓一様】(飯田市下久堅和久平) ・寛永の大水(寛永五年と寛永四年、幕本氏の皇親から寛永元年の洪水に関する可能性が高い)で数十町歩の田地流出、河原にあった豊二軒も流された。度々このような水害に冒難わられたので、時の飯田城主藤原氏の家来である横山次右衛門が和久平の豊右衛門にいつけて川除水堀普請をさせた、ところが堤防工事を進める際、小百姓にはかりに不公平なことをさせたので、大騒動が起きた	ハヤル履、オーブンハウス、オーブンカフェでのハヤル素材、伝説集の素材(飯田市地域)	
204	● 書籍	上伊那文化大辞典	伊澤和馬	平成2年4月26日	244-245 636-637 639-640 642	○	○	-	洪水被害 伝承事例	伊那市(伊那郡・高遠・長谷) 駒ヶ根市(東伊那・赤穂・中沢) 中川村(大草・飯沼)	上伊那地域における風俗や文化の歴史、地域に伝わる伝説などの記述がある。	【般若島】(伊那市伊那郡下新田) ・寛永元年(1624)に大臺山行者の藤秀院不源といふ者が、この地に堂宇を構えた。正保四年(1647)五月の洪水のおり堂宇が流されそうになった時、般若経をどひどびに読んで流失を免れたという、ここから般若島と名づけられた 【守屋山(モリヤマサマ)】(伊那市高遠町藤澤片倉) ・伊那と諏訪の間にそびえる守屋山には、守屋大神の石の祠が祀られている、山中で乱暴すれば山が荒れるといわれ、守屋山の頭にある時は必ず崖の村々に雨が降るといわれている 【熱田神社】(長谷溝口) ・名古屋の熱田神宮から勧請してもらい室町時代以前に建てられているとされている。日本武尊が、赤河原の地で大蛇を切り殺した後、大蛇の頭を擧げて溝口の里に來、家の大柱の下に行宮を造り、その傍らに大蛇の頭を埋めて里の悪いを取り除いたという 【萬巻谷山(つかずやま)の伝説】(駒ヶ根市東伊那) ・往昔、貝沼村北側にいた井上浦部という地侍が、日山野に入り組をしていた、すると熊鷹が立ちこめ浦が天地を震い、大雨が激しく降り出したので侍は崩路を見失ってしまった、二重後野宿し、精神が朦朧とするにいたり、無事に帰れた時は萬巻谷山の絶頂に一社創建すると藤田彦命に感謝したところ、雨がやみ目の前に山鳥が現れた、これを捕まえてようと跡を辿っていくといいつしか事が察したと語り着くことができた、侍は神慮の靈感を感じ、山頂に高鳥谷天狗(藤田彦命)を祀り神殿を建てるようになったという	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域)	

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
204	● 書籍	上伊那文化大辞典	伊藤和馬	平成2年4月26日 244-245 638-637 639-640 642	○	○	-	洪水被害 伝承事例	伊那市(伊那郡・高遠・ 長谷) 駒ヶ根市(東伊那・赤 穂・中沢) 中川村(大草・飯沼)	上伊那地域における風俗や文化の歴史、地域に伝わる伝説などの記述がある。	【浮島の伝説】(駒ヶ根市赤穂小郷治と中沢穴山の開)・天童川の赤穂小郷治と中沢穴山の境に浮島と呼ぶ塚があった。中央に水神様が祀られ、周囲には赤松5、6本が立ち、川の水がどんなに濁水しても沼は枯れなかつたという。昔車馬の山から鹿が出て、付近の人々が捕らえて皮を剥いたところ、その腹に宿っていた。妻に思いつた里人が、その袋子を浮島へ埋めた。母鹿は小鹿を連れさまいとして、濁水の畔には鳥を呼び上げさせたという。昭和初期に吉瀬ダム構築によって年々河床が上昇し、現在は河床に埋没してしまった 【黒牛の風穴】(中川村大草美里) ・中川村大草美里(黒牛)地籍の風穴という所に、風三郎と呼ばれる風の神が祀られている。風の神が嫌っている神楽の獅子や越後獅子が宮の人風より奥へ登ったならば、たちまちに黒風を巻き起こすと伝えられている。駒ヶ根市大御倉神社の神代文字によつて書かれた社伝記には、五息夜にわたり吹き荒れた黒風を黒牛の風の神の祟りであるとして祭り鎮めたことが記されている 【天女饗霊神(あめますりいじん)】(中川村飯沼) ・むかし、飯沼の家の田圃えに毎年素性の知れない美しい天婦が宇伝いに来て、田圃えしまたの時、赤飯をご馳走になると、いすこともなく立ち去つた。ある日この家の男衆がわみ沢の淵で魚釣りしたところ、大きなあめのうおが釣れた。腹を剖いてみたところ中からたたくさんの赤飯が出てきた。翌年の田圃えに美しい姿の夫婦が埋れなかつたことから、夫婦がわみ沢に住むあめのうおの化身であつたことを知つた。そこでわみ沢の淵を鼠下ろす林の中に洞を選び、天女饗霊神として祀つたところ、夜になると淵から「あめますりさばら」と呼ぶ声が聞こえてきた。それから数年ごとに飯沼の家の田圃えには、よく顔が降つたといふ。38災害の時、その淵の面影はずつかりなくなりなくなつた	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域)		
208	書籍	伊那谷 長谷村の民俗	長野県上伊那郡長谷村文化財専門委員会	昭和48年9月25日 30-32 283-284	○	-	-	洪水被害 伝承事例	伊那市(飯島橋・真春近・長谷)	旧長谷村(現伊那市長谷)における風俗に関する歴史や地域に伝わる口頭伝承等の記述がある。	【飯島橋の豪邁】(伊那市真春近) ・三峰川奥地の森林盗伐により洪水を招来し、犯濫原が拡大したことにより、元禄六年から昭和十一年までの240年間に飯島橋の長さが6倍になつた 【真春近に伝わることわざ】(伊那市真春近) ・北風が吹くと大水がでる 【黒内河内長者門前】(伊那市長谷川河内) ・大澤幸へ登る門前(黒内)の土に生んでいた長春の美しい一人娘のところに、毎晩訪れる美少年がいた。その美少年は戸倉山の池に住んでいる大地の化身だといふわけだが、たつた、娘は誰かめふよと、男の着物の裾に針を刺して縛らせた。次の夜、男は寝えず、大地もどろどろと雷鳴と大轟雷門に変わり、窓のうちに三峰川が天洪水となつた。翌朝大蛇の腹が激流に流されていく姿が真られた	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 伊那小学校学習支援の校内放送による昔話朗読の素材(伊那市地域)		

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当モデル地域			災害種別	該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域	飯田市 地域						
208	書籍	伊那谷 長谷村の 民俗	長野県上伊 那郡長谷村 文化財専門 委員会	昭和48年5月25日 30-32 283-284		○	-	-	洪水被害 伝承事例	伊那市(飯島橋・東春 近・長谷)	旧長谷村(現伊那市長谷)における風 俗に関する歴史や地域に伝わる口頭 伝承等の記述がある。	【長谷に伝わることわざ】(伊那市長谷) ・夕方地震があると日干が練く ・蟻の巣が低い場所にある年は大風が吹く ・水こい鳥が鳴くと雨が降る ・西輪へ雲が出ると近いうち雨 ・中屋四沢になると雨が降る ・煙草の葉りが臭いと雨が降る ・蟻が巣を持ち上げると雨が降る ・右沢雨はこつくない ・北の入り口に霧がくると雨 ・雨蛙がなく雨が降る ・油が耳を越して雨を流すと雨 ・戸倉へ霧がかかれば雨 ・和泉原の平へ霧が降りると雨 ・釜無(釜無山)へ霧がはいると雨が降る ・大風の吹くとき、羊の先へ鎌をしばりつけて、屋根棟へ 立てれば風除けとなる ・水柱、水内袋、雪の桁、雨の垂木に露の置き草と唱える ・火の夢は水出、水の夢は火事がある	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地域)	
209	資料 写真	第7回三峰川フォー ラム配布資料	三峰川みらい 会議	-	一式	○	-	-	洪水被害 伝承事例	伊那市美濃	【青島堤防】(伊那市美濃青島) ・天明年間(1781～1788)に藩によって築かれた御馬通し 川除が青島神社を守っていたが、明治元年(1868)、明治 15年(1882)、明治18年(1885)の大洪水により、青島堤 地区は本打撃を蒙ったため、関係地元民が集まり築堤 計画や施工計画を立案した。さらにその費用も調達して 果敢と許可を求め、地元民の責任により施工する方法をと った。橋爪定太郎を中心とし、明治32年(1899)に堤防が完 成した。 ・大正12年(1923)、橋爪与四郎、北原繁雄両氏が率先 し、青島堤防保存会を結成し保存に努めた。美濃村でも 昭和26年(1951)に美濃村堤防保存会を組織し、水防資 材保存庫を整備したり、常時堤防を見回り危険箇所を改 善に努めた 【耕土の深さ】(伊那市美濃青島) ・川向こうの畑作地の河南村から来たお嬢さんがおいさ あかつたところ、足の泥を落としてから上らがるよう注意さ された。それほど耕土が薄く、土が貴重であった。耕土が薄 めて速いため、トラクターの爪が三年で磨耗した。堤防の 切れ目(震源)から大水の時は水がゆっくりと溢流してく る。そのとき工が凍結して耕土が深くなった 【青島住長の水防技術の継承】(伊那市美濃青島) ・36災害の時、聖牛(うし)入れに關して、青島住民が自 衛隊を指揮した 【北原式伸縮式鉄線じゃこの発明】(伊那市美濃) ・美濃の中の原の用水路を私財をあげて完成させた 北原平八郎の孫である北原繁雄氏が、三峰川の洪水復 旧作業の仕事の中で、伸縮式鉄線じゃこを発明した 【さんよりこより】(伊那市美濃・富良) ・三峰川をさんで富良川に位置する伊那市美濃川手と富 良川をさんで毎年8月7日に行われるお祭りです ・この二つの村は伝承年間に藤沢川(伊那市富良)に あった天伯村が洪水で壊された井に流れ着き、重び 流されて対岸の川手に流れ着き川手には大瀬川(お おたなはたひめのみこと)を、井井には瀬川(お りつひめのみこと)が双方の天伯村に祀られたという。三 峰川の広さを治め無病息災を祈るもので約300年の歴史 がある	災害伝承番組への素 材提供(伊那市地域)		

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所蔵者	編纂年月日	該当ページ	該当モジュール地域		災害種別	該当市町村や地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案
						伊那市地域	駒ヶ根～中川村地域						
210	●書籍	入野谷の伝承	黒河内谷右衛門	昭和50年1月1日	143-146 183-184 193-195	○	-	洪水被害 伝承事例	伊那市長谷入野野地域に伝わる伝承がまとめられている。	【入野谷騒動】(伊那市長谷) 慶応二年(1866)から凶作が続き、明治元年(1868)の五月と八月におこった洪水(厩溝水)により、天明・天保に次ぐ大凶作となった。また明治新政により急激に経済の情勢が変動し、物価が高騰したため生活は困窮を極めた。本領隣の五カ村(市野瀬・中尾・溝・杉島・黒河内)においては、瀬に対して用木の土納と年貢の上納をゆるめてほしいと嘆願したところ、聞き入れてもらえなかった。とうとう明治二年(1869)十二月の夜、水溜が一度に爆発し、一帯が勃発した。その結果藩は入野谷全体に対して上納の延期を認め、騒動は三日の夕方に治まった 【赤河原】(伊那市長谷) おおむかし、戸台川(伊那市長谷黒河内)の上流に一匹の大蛇が棲んでいた。時々里に出てきては危害を加えていたので、里の人たちは毎日恐れおののいていた。そのころ、日本武尊が、東行天皇の命令によって東国の悪者征伐にでた帰りの途中に入野谷に立ち寄り、悪い大蛇の窟を探した。大蛇は戸台川上流の河原で大蛇を身つけ、切り殺した。このとき、大蛇の切り口から物凄い勢いで血が流れ出した。そのあと、大蛇の血が流れて赤い血が、それ以来河原の石はどれもみな真っ赤になつていった。その河原を赤河原と呼ぶようになったという 【三峰川の七石】(伊那市長谷) 戸台川上流の大蛇が日本武尊に切りつけられた時、断末魔の苦しみから広い河原中をたうちまわった。あたりどこの大地はどろろと揺るぎ、大蛇の大きな七色の鱗が火花のように空高く散らばって大きな虹をつくった。きれいに大空を彩った七色の鱗の虹は、やがて流れ星のように塵をひいて三峰川の源となった。現在三峰川に谷々いに石が込みまされるよう落ちている。現在三峰川にある七色の石は、このとき飛び散った大蛇の七色の鱗であると言われ、人々は三峰川の七石と呼んでいる	災害伝承番組への素材提供(伊那市地域) 伊那小学校学習支援の校内放送による講話の録音素材(伊那市地域)		
211	●書籍	駒ヶ根市誌現代編下巻	駒ヶ根市誌編纂委員会	昭和49年11月30日	596-597	○	-	洪水被害 伝承事例	駒ヶ根市誌の現代編下巻、駒ヶ根市に伝わる伝説に関する記述がある。	【小鍛冶の矢文】(駒ヶ根市小鍛冶) 元和元年(1615)浦井新左衛門二男左太夫と、家来の庄右衛門が大鍛冶の陣に陣出し、左太夫は戦死した。庄右衛門が帰郷の際に天竜川が増水しておろし、やむなく河岸の小鍛冶より矢文にて次男左太夫の戦死を主殿に報告した。明治17年、18年頃までは洪水のにおりに、妻殿に矢文で通信を行っていたという 【隅の木】(飯島町本郷) 隅の木と称する葉の木があった。正徳五年未満水の時、与田切川が氾濫し沿岸の田家が徹ね流出してしまつた。人々ははわずかに身を以て免れ、隅の木の陰に集いて避難を祈ることができたという。この隅の木の老朽化が危惧され、隅の木が倒壊することになった時、その恩を記すために隅の木が建立された 【鬼の島・鬼の的】(飯島町本郷) 与田切川の中き出しに、鬼がもつて土を掘き空け出したら出来た島と、もつて土を掘き空けたら小きな島が出来たといふ。また駒ヶ根に住んでいいる鬼神が、ここに標的を置いて山頂より弓を引いて習うたと言ひ伝えられている	理兵衛理防ウォークツアーで配布する冊子コラム参照(駒ヶ根～中川村地域)		
212	●書籍	飯島町誌下巻現代・民俗編	飯島町誌編纂委員会	平成5年3月25日	1104 1107 1108	○	-	洪水被害 伝承事例	飯島町誌の下巻現代民俗編、飯島町で過去に起こった災害の記録や地域に伝わる口頭伝承、芸能、信仰などに関する記述がある。				
213	●書籍	中川村誌下巻近代・現代編 民俗編	中川村誌編纂委員会	平成17年3月25日	696-697 702	○	-	土砂災害 伝承事例	中川村誌の下巻近代・現代編 民俗編、明治以降の中川村の歴史や人々の生活、地域に伝わる伝承などに関する記述がある。	【中川村に伝わることわざ】(中川村) ・東夕立(東山からの雷雨)は来そうてこないが来ればつづかい ・霧山に霧が立っている内は雨は止まない 【座頭名】(中川村) ・昔座頭が数人で京へ上る途中、なまじりぬれにあって悲惨な死をげた。山の木を切るこがなき崩れの原因であるとし、再びこのような惨事が起こらないことを願つて、座頭なまじりぬれを松ぼらせず、との申し合わせが遺言として残されている	理兵衛理防ウォークツアーで配布する冊子コラム参照(駒ヶ根～中川村地域)		

No.	文献分類	収集文献名	著・資料所有者	編集年月日	該当ページ	該当エリア		該当市町村や 地物名	文献概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文献保存に対する提案	
						飯田市 地域	伊那市 地域						
214	● 書籍	上伊那たずねある 記	JA上伊那総 務企画部	平成17年4月23日	132-133	-	-	中川村片桐田島	上伊那の「自然・歴史・文化・農」を柱として広い視野から上伊那地域の農村文化・地域資源を把握することができるとある。	【理兵衛堤防】 ・天流功業義公明神碑の写真1点(モノクロ) ・理兵衛堤防の写真1点(モノクロ)			
215	● 書籍	図説・上伊那の歴史 史上巻	池上正直 伊藤一天 教原貞利 柿木憲二 長瀬康明 松崎岩夫	昭和62年2月5日	128-129	-	-	中川村片桐田島	上伊那の歴史が豊富な図や写真とともにまとめられる。天竜川水系の洪水と治水工事に関する記述がある。	【理兵衛堤防に関する図録写真2点と総図1点】 ・安政五年三峰川国設普請絵図(伊那市美濃、春日卓爾氏所蔵) ・理兵衛堤防の写真(モノクロ、撮影年代不詳) ・天流功業義公明神碑の写真(モノクロ、撮影年代不詳)	理兵衛堤防ウォークキングツアーで配布する冊子への掲載(駒ヶ根～中川村地域)	既存の伝承クリカブルマップに総図保存	
217	● 書籍	伊那谷の伝説	村沢武夫	昭和45年11月3日	13-14 30-31 92-93	-	-	飯田市(北方・上郷・松尾)	伊那谷に伝わる伝説が数多く記述されている。	【今に生きている長左衛門】(飯田市北方) ・白河院の承保元年に飯山平大夫といふ人が開いた(北方方面高嶺田記)といわれる荒井川(用水)は度々山掛けが起こっており、百年も荒れつづきになつて、これを知らずして飯田町生まれの山村長左衛門は、北方村に住むようになつてから村民を救うために飯田城主の殿坂を貫き河川工事をお願いし、仕事によりかかつた、衣類し水を運ぶようとしたと云ふ基礎工事が重かつたため、衣類しあたりは田畑を流してしまつた。村民から根をぬかれ、辛く入らぬらしてしまつた長左衛門は、薪中で設計書を書きつづけて河川工事と関係して、どうと水が流れるようになつた、この功績により殿坂からはおもひにやすかり、村人から感謝されるようになつたため、長左衛門は死んでからも人々の中で生きていけるという 【山本長左衛門頌徳碑】(飯田市北方) ・新井川の工事を完成させた偉業を讃えて建てられた 【荒井川】(飯田市北方) ・笠松山麓近くの荒井川は度々の山崩れから"荒れる井"といつた	ハネル履、オーブンハウス、オーブンカフェでのパネル素材、伝説集の素材(飯田市地域)		
217	● 書籍	伊那谷の伝説	村沢武夫	昭和45年11月3日	13-14 30-31 92-93	-	-	飯田市(北方・上郷・松尾)	伊那谷に伝わる伝説が数多く記述されている。	【子泣き石(津波石)】(飯田市上郷別府) ・正徳五年の津波の時に、野原川から運ばれたものだと伝えられている。この石の下に赤ん坊が押しつぶされ、雨の降る夕方などに悲しそうな泣き声が聞こえるようになった、かわいそうに思った近所の人たちが石の上にお地蔵様を祀つたところ泣き声は聞かなくなり、このお地蔵様に願いをかける子ども達の泣き声が治ると評判が立つようになった 【うしろ向となった弁天様】(飯田市松尾) ・洪水による地形の変化により、島田村(飯田市松尾)と虎岩村・知久平村(飯田市下久堅)との間で境界線争が起つて、1738年(元文三年)の洪水の後、大面越前守の働きにより、弁天様が島田村のものとなった。ところが、弁天様は天童川の東側がお好きとあって虎岩村・知久平村の方ばかり向いていた。怒つた島田村の衆が、弁天様を島田村の方に向けたところ、村内で悪い病気が流行つたので東向きに戻した。悪い病気がすぐ治まつた。島田村では、社殿のうしろから拝むようになつた。また弁天様はどんな洪水の時でも流されたことがなかつたが、36災害の時も流されたことがなかつた、今ではもとのところに祀られている	ハネル履、オーブンハウス、オーブンカフェでのパネル素材、伝説集の素材(飯田市地域)		

No.	文獻分類	収集文獻名	著・資料所有者	編纂年月日	該当ページ	該当モデル地域		該当市町村や 地物名	文獻概要	記載事項の詳細	伝承手法実施での活用	文獻保存に対する提案
						伊那市 地域	駒ヶ根 ～ 中川村 地域					
230	●書籍	千代村誌 千代村誌	千代村誌編 纂委員会	昭和40年5月25日	728-729	-	○	飯田市千代	旧千代村の村誌。地域に伝わる伝説 に関する記述がある。	【千代に伝わることわざ】(飯田市千代) ・猫が耳をこすると雨が降る ・鯉がはねると雨が降る ・蜘蛛の巣が沢山かかると晴れる ・三日月の欠けた方が下を向いていると雨 【赤淵】(飯田市千代) ・むかし黄昏時に野池方面から米川の河原町へと流れ来 た年々7、8歳ぐらゐのどこか気高い美しいさきもつた娘乙女 があった、隣部落の若侍と夫婦がひきとり、若をお妾代と 名づけてわが子のようにかわいがった。お妾代が物心をつ いたある日、遊び友達から昔は名食だったという話を聞 かされ、悲しい涙で送る日が多くなった。ある夜お妾代の 姿が忽然と消えた。夫婦はくまなく探したが見つからな かった。お妾代が濡れて立っていた、お妾代は夫婦にお世 間の中で、あきらめて葬儀をおこなった夜、お妾代が暗 くなったお礼を述べ、赤淵の主となったことを告げた。そ して、日照りで困った時に雨乞いをすれば必ず雨を呼ん でくれることを約束し、赤淵の別れを告げて脚の中へと吸い 取られていった。翌日夫婦は村人にこの物語を話し、お 妾代を祀り不動様と呼んだ。今でも村人は米川の赤淵で 雨乞いをすることが習慣となっている。	ハナル屋、オープンハウ ス、オープンカフェでのハ ナル素材、伝説集の素材 (飯田市地域)	
231	●書籍	鼎町史 鼎町史下巻	鼎町史編纂 委員会	1986年	1176-1177 1177	-	○	飯田市鼎	鼎町史の下巻。地域に伝わる民間傳 説や伝説に関する記述がある。	【地蔵岩】(飯田市鼎切石) ・開沢の奥深くまで薪を取りに行つた人がいた、夕方に なつて狼が来たので、驚いて逃げた。開沢の山の神 辺りまで来た時、山から岩が落ちてきて、狼に当たつて殺 してしまつたので助かつた。その岩は地蔵岩といつても 道理にあり、雨が降りだす前などには岩の表面に地蔵様 の姿が現れるという 【池が洞の主】(飯田市鼎切石) ・城山の池がある池に、永年大蛇とも山瀬かじかとも いふ主が棲んでいた。池の堤がだんだん欠けてきて、いよ いよ主が棲んでいけなくなつたのを知り遠い山に逃げた。山の 須志角の河原を通つて下流の深淵の池へ移つた。山の 奥宮辺には、その通過した道筋が掘れて小川らしい跡 が残っている	ハナル屋、オープンハウ ス、オープンカフェでのハ ナル素材、伝説集の素材 (飯田市地域)	
232	●書籍	上久堅村誌 上久堅村誌	上久堅村誌 編纂委員会	平成4年1月31日	742-743	-	○	飯田市上久堅	旧上久堅村の村誌。過去に起こつた 災害の記録や地域に伝わる伝説や理 説に関する記述がある。	【上久堅に伝わることわざ】 ・雨山に雲がかかると雨が降る ・霧の山に雲がかかると雨が降る ・霧の山に雲がかかると雨が降る ・雨立たば降りが強くなる ・雨降りが降ると雨が降る ・雲が北へ向くと必ず雨、東に向くと小雨 ・霧が北を高い所につくと強風がなく、低い所につくと 台風がくる	ハナル屋、オープンハウ ス、オープンカフェでのハ ナル素材、伝説集の素材 (飯田市地域)	